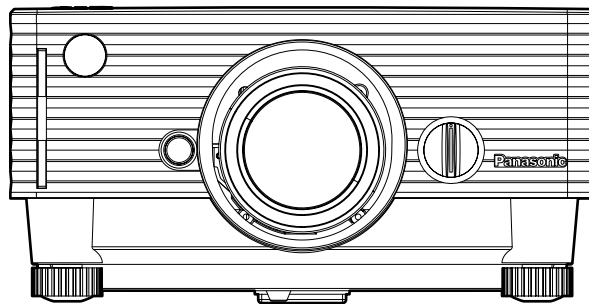


取扱説明書

高輝度DLP™方式プロジェクター 業務用

品番 **TH-D3500**



このたびは、パナソニック 高輝度DLP™方式プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特にこの説明書の「安全上のご注意」(4～7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に保管し、必要なお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

上手に使うって上手に節電

もくじ

安全上のご注意	4	各部の名前と働き	9
付属品の確認	7	リモコン	9
取り扱い上の留意点	8	本体前面・側面	11
運搬上の留意点	8	本体後面・側面・天面操作部	12
設置に関する留意点	8	側面接続端子部	13
廃棄について	8	リモコンの使いかた	14
使用上の注意点	8	乾電池の入れかた	14
お掃除とお手入れ	8	リモコンの有効操作範囲	14
		リモコンのIDナンバーを指定する	15
		リモコンをパソコンのマウス代わりに使う	15
		ワイヤードリモコンで使う	16
投写する	22	デジタルズーム(− D.ZOOM +)	
電源を入れる	22	機能を使う	26
調整・選択をする	22	オンスクリーンメニューについて	27
電源の切りかた	23	メニュー画面一覧	27
ダイレクトパワーオフ機能について	23	メニュー画面の基本操作	28
レンズ調整のしかた	24	前の画面に戻すには	28
レンズフォーカス調整、レンズズーム調整、		メニュー画面の項目の透明文字表示について	28
レンズ上下位置移動(光学シフト)		メニュー画面の表示について	28
調整のしかた	24	調整値を工場出荷状態に戻す	28
レンズ位置左右調整のしかた	24	映像の調整	29
オートセットアップ(AUTO SETUP)		映像モード	29
機能について	25	黒レベル	29
フリーズ(FREEZE)機能を使う	25	ピクチャー	29
シャッター(SHUTTER)機能を使う	25	色の濃さ	29
オプション1の設定	34	ランプパワー	35
カラーコレクション	34	RS232C	35
コントラストモード	34	システム情報	35
入力自動セットアップ	34	ファン制御1	35
バックカラー	34	ファン制御2	36
サブメモリー一覧	34	FUNC1設定	36
DVI EDID	34	◆キー設定	36
オプション2の設定	35	オートパワーオフ	36
ID	35	パスワード	36
投写方式1	35	テストパターンの表示	37
投写方式2	35	内蔵テストパターンの表示チャート	37
モニター部の表示について	42	Webブラウザコントロールを使用する	47
エアフィルターの手入れと交換	43	Webブラウザからのアクセスのしかた	47
清掃手順	43	パスワード変更ページ	47
ランプユニットの交換	44	基本制御ページ	48
ランプユニットの交換時期	44	詳細制御ページ	49
ランプユニットの交換手順	45	モニター情報ページ	49
		エラー情報ページ	50
		Eメール設定ページ	51
		DNSサーバー設定ページ	52

設置する	17
投写方式	17
投写関係	17
投写距離	17
接続する	18
接続する前に	18
AV機器との接続例	19
パソコンとの接続例	20

投写レンズ(別売品)の取り付け／ 取り外しかた	21
投写レンズの取り付けかた	21
投写レンズの取り外しかた	21

色あい	29
色温度設定	29
白ゲイン	29
シャープネス	30
ノイズリダクション	30
AI	30
TVシステム	30
システム	30
ポジションの調整	31
ポジション	31
アスペクト	31
ズーム	31
クロックフェーズ	31
台形補正	31

アドバンスドメニュー	32
デジタルシネマリアリティ	32
ブランキング	32
入力解像度	32
クランプ位置	32
ラスターポジション	32
SXGAモード	32
音声の調整	33
音量	33
ミュート	33
表示言語の切り換え	33

セキュリティの設定	37
パスワード設定	37
パスワード変更	37
テキスト設定	37
テキスト変更	37
ネットワークの設定	38
パソコンの接続	38
必要なシステム構成	38
接続例	38

シリアル端子を使う	39
接続例	39
ピン配列と信号名	39
通信条件	39
基本フォーマット	39
制御コマンド	40
ケーブル仕様	40
リモート2端子を使う	41

POPサーバー設定ページ	53
接続テストページ	53
送信するメール内容	54
時刻設定ページ	54
IPアドレス設定ページ	55
ネットワーク情報ページ	55
PJLink™プロトコルを使用する	56
対応コマンド	56
PJLink™セキュリティ認証	56

修理を依頼される前に	57
仕様	58
対応信号リスト	60
投写レンズごとの投写距離	61
保証とアフターサービス	62
外形寸法図	63

準
備

使
い
か
た

応
用

そ
の
他

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下表は絵表示の一例です)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。



警告

■故障（画像が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

■荷重に耐えられない場所に設置しない



禁止

設置場所の強度が弱いと、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■天井取り付け（天つり）などの設置工事は専門の技術者に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。

■内部に異物や水などが入ったり、落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 修理は販売店にご依頼ください。

■カバーを外したり、改造したりしない



分解禁止

内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。



高圧注意

サービスマン以外の方はケースをあけないでください。
内部には高電圧部分が多くあり万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



警告

■ セキュリティロック用孔だけで本機をつり下げない



本機が落下、破損し怪我の原因になる場合があります。

禁止

■ 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しない



付属の3端子付コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因となります。

禁止

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ めれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となります。

めれ手禁止

■ 電池の+・-部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない



液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

■ エアフィルター部や吸排気孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止

■ 電源プラグのほこりは定期的に掃除をする



電源プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

禁止

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ 単4形乾電池は、乳幼児の手の届くところに置かない



飲み込むと窒息死の原因となります。

禁止

- 万一、飲み込んだと思われるときはすぐに医師にご相談ください。

■ 不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いた所など落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

警告

■ ランプユニットを分解しない



ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。

禁止

■ ランプユニットの交換は、サービス技術者に依頼する



光源ランプは内部気圧が高く堅い物に当てたり落下させると破裂し、けがや事故の原因となることがあります。

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1時間以上待ってから）行う



やけどの原因となることがあります。

■ 水をかけたり、ぬらしたりしない



火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

■ 上に水などが入った容器を置かない



水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

● 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

■ 異物を入れない



内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。

禁止

火災・感電の原因となります。

■ 排気孔には手や物を近づけない



空気吹き出し口からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となることがあります。空気吹き出し口から約50 cm以内には、壁や遮へい物などがないようにしてください。

禁止

注意

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



火災・感電の原因となることがあります。

禁止

■ レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない



レンズシフト動作中にレンズ周辺の開口部に手を入れないでください。手をはさみけがの原因となることがあります。

禁止

■ 乾電池は以下のことを守り正しく取り扱う



- ・電池の+、-を正しく入れる。
- ・指定の乾電池を使用する。
- ・新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない。
- ・乾電池は分解しない。
- ・加熱・分解したり、水・火の中へ入れたりしない。
- ・長期間使用しないときは、取り出しておく。

- 取り扱いを誤ると、乾電池の液もれにより、火災や感電、周辺汚損の原因となることがあります。
- 万一液もれが起これば、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 注意

■ 古いランプユニットは使用しない



禁止

破裂する場合があります。

■ 本機の上に物やプロジェクターを置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。また、プロジェクターを直接二重積みすると、本機が変形して故障の原因となることがあります。

■ ご使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となることがあります。

■ ランプが破裂したときには以下のことを 守り正しく取り扱う



本機の内部やランプハウス内にはガラス片が散乱している可能性があります。

- 販売店にランプの交換と内部の点検を依頼ください。
- 通風口よりガスや粉塵が出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれています。万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。

■ 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する




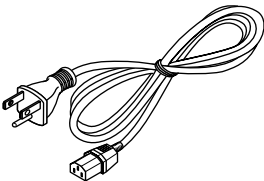
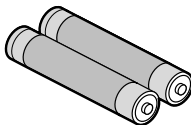
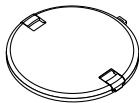
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

準備

付属品の確認

以下の付属品が入っていることをご確認ください。

<p>リモコン 1個 [N2QAEA000023]</p> 	<p>電源コード 1本 [K2CG3FH00015]</p> 	<p>リモコン用 単4形乾電池 2個</p> 	<p>レンズキャップ 1個 [TKKL5244-1]</p> 
---	--	---	--

取り扱い上の留意点

■ 運搬上の留意点

運搬時は必ずレンズキャップをかぶせてください。本機および投写レンズは振動や衝撃に対して影響を受けやすい精密機器です。運搬時はお買い上げ時の箱に入れ、振動や衝撃を与えないようご留意ください。

■ 設置に関する留意点

本機の設置については下記の事項を必ずお守りください。

● 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両・船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。

振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

● 動作中に移動させたり、振動や衝撃を与えたりしないでください

内蔵されているモーターの寿命を早める恐れがあります。

● 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

● ビニールシートやじゅうたんの上には設置しないでください

エアフィルター部にビニールシートなどがはり付き、本機内部温度が上昇するため保護回路が働き、電源が切れる場合があります。

● 本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください

天井からつり下げて設置される場合は、別売の天井金具（高天井用品番：ET-PKD35）、（低天井用品番：ET-PKD35S）をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。

● 海拔2 700m以上の場所に設置しないでください

また海拔1 400m以上でご使用になる場合は、35ページの「ファン制御1」を「高地」に設定してください

そのまま使用すると、製品の寿命に影響する恐れがあります。

■ 廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

■ 使用上の注意点

● 美しい映像をご覧いただくために

・スクリーン面に外光や照明などの光が入ると、ハイコントラストで美しい映像を見ることができません。

窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。

・使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。

● 投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますのでレンズ面には手をふれないでください。また本機を使用されないときは、付属のレンズキャップを取り付けてください。

● ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプには次のような特性があります。

・衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。

・個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に頻繁な電源オン／オフの繰り返しは、寿命に大きな影響を及ぼします。

・ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。

・交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。

注意

パソコンや外部機器に接続する際、シールドされたインターフェースケーブルを使用してください。

お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットはやわらかい乾いた布で

汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤（中性）にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

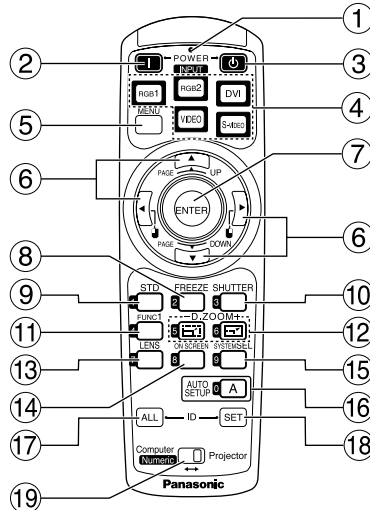
レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。

やわらかいきれいな布でふいてください。

各部の名前と働き

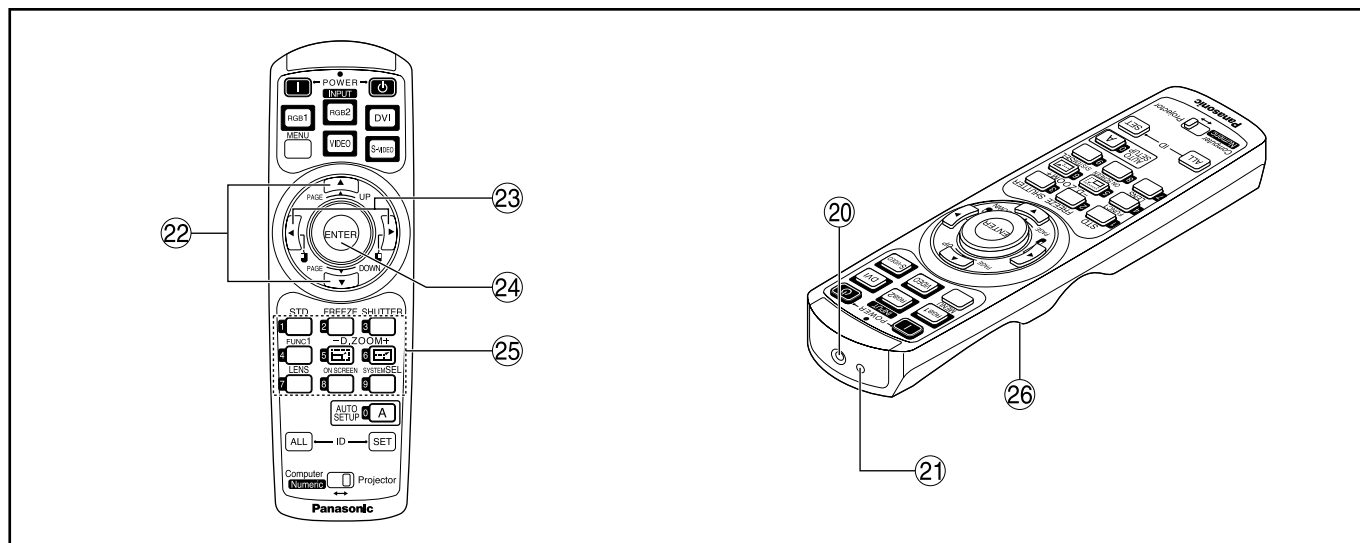
リモコン



準備

<操作モード切り換え⑱をプロジェクター (Projector)側に行っているとき>

- ① **リモコン操作表示ランプ**
リモコンボタンを押すと点滅します。
- ② **電源入(|)ボタン(22ページ)**
本体の主電源(MAIN POWER)が「 | 」側のとき、電源の「入」ができます。
- ③ **電源切(|)ボタン(23ページ)**
本体の主電源(MAIN POWER)が「 | 」側のとき、電源の「切」ができます。
- ④ **入力切り換え(RGB1、RGB2、DVI、VIDEO、S-VIDEO)ボタン**
RGB1、RGB2、DVI-D、VIDEO、S-VIDEOの入力切り換えができます。
- ⑤ **メニュー(MENU)ボタン(28ページ)**
メインメニューを表示したり、消したりします。メニューが表示されているときは1つ前の画面に戻したりすることができます。
- ⑥ **▲ ▼ ◀ ▶ ボタン(28ページ)**
メニュー画面の項目の選択、設定の切り換え、音量の調整およびレベルの調整ができます。また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します。
- ⑦ **エンター(ENTER)ボタン(28ページ)**
メニュー画面の項目の決定や実行をすることができます。
- ⑧ **フリーズ(FREEZE)ボタン(25ページ)**
映像を一時的に静止させたいとき押します。
- ⑨ **スタンダード(STD)ボタン(28ページ)**
設定を工場出荷時に戻したいとき押します。
- ⑩ **シャッター(SHUTTER)ボタン(25ページ)**
映像を一時的に消したいとき押します。
- ⑪ **ファンクション1(FUNC1)ボタン(36ページ)**
メインメニュー内から「オプション2」画面の「FUNC1設定」で設定した機能をこのボタンで操作できます。
- ⑫ **デジタルズーム(- D.ZOOM +)ボタン(26ページ)**
映像を部分的に拡大することができます。
- ⑬ **レンズ(LENS)ボタン(24ページ)**
投写レンズを調整するモードに設定します。
- ⑭ **オンスクリーン(ON SCREEN)ボタン**
オンスクリーン表示機能を「入」「切」します。
- ⑮ **信号方式切り換え(SYSTEM SEL)ボタン(30ページ)**
「TVシステム」または「システム」の信号方式の切り換えができます。
- ⑯ **オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン(25ページ)**
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置が自動調整されます。自動調整中は画面に「自動位置補正」と表示されます。
- ⑰ **IDオール(ID ALL)ボタン(15ページ)**
本体を複数台使用するシステム時、1つのリモコンで同時制御するモードに設定します。
- ⑱ **IDセット(ID SET)ボタン(15ページ)**
本体を複数台使用するシステム時、リモコンのIDを設定します。
- ⑲ **操作モード切り換え(Computer/Numeric, Projector)スイッチ(15ページ)**
プロジェクターを操作するときは右側に、パソコンを操作するときや数字ボタンを使うときは左側に切り換えます。



⑳ リモコンワイヤード端子(16ページ)

ワイヤード出力端子を使用する場合は、M3ステレオミニジャックケーブル(市販品)でリモコンと本体を接続します。

㉑ リモコン発信部

本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

<操作モード切り換え ㉑をコンピューター(Computer)側に行っているとき>

㉒ PAGE UP/PAGE DOWNボタン

パソコンのキーボードのPAGE UP/PAGE DOWNボタンに相当します。

㉓ ◀ ▶ (左右) ボタン

マウス左ボタン/右ボタンに相当します。

㉔ エンター(ENTER)ボタン

マウスカーソルを移動させることができます。

㉕ 数字(0~9)ボタン

本機を複数台使用するシステムで、本機を指定するボタンです。

また、サービスマン用のパスワード入力時にはパスワードの入力にも使用します。

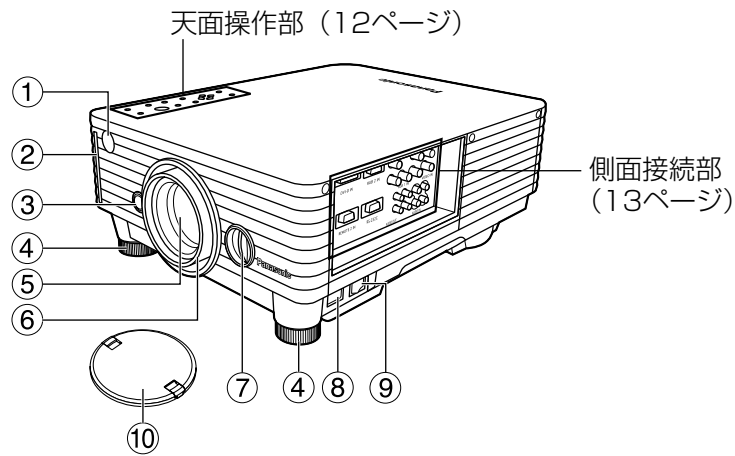
㉖ クリックボタン(15ページ)

操作モード切り換えをコンピューター(Computer)側に行っているときはマウス左ボタンに相当します。

お知らせ

- リモコンをパソコンのマウス代わりに使用する場合は、別売のワイヤレスマウスレシーバー(品番：ET-RMRC2)をお買い求めください。

本体前面・側面



① リモコン受光部(14ページ)

リモコン信号の受光部です。

② エアフィルター部(43ページ)

③ レンズロックボタン(21ページ)

投写レンズを取り外すときに使用します。

④ 高さ調整機能付セット脚(22ページ)

本体の傾き調整に使用します。
(前の左右のセット脚が調整できます。)

⑤ 投写レンズ

スクリーンに映像を投写するレンズです。

⑥ フォーカスリング(24ページ)

リングを回すと、フォーカスの調整ができます。
電動でも、フォーカス調整ができます。

⑦ レンズ左右調整ダイヤル(24ページ)

時計方向に回すと画面は左へ動き、反時計方向に回すと画面は右へ動きます。

⑧ AC 入力(AC IN)端子(22ページ)

付属の電源コードを接続する端子です。
付属のもの以外は接続しないでください。

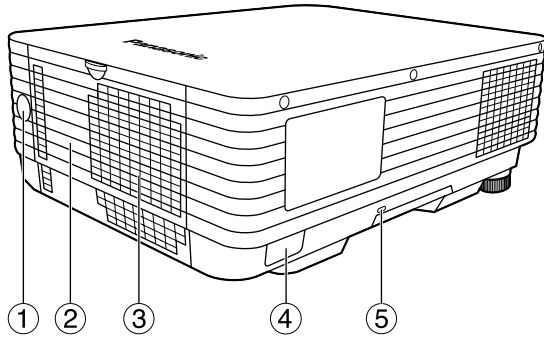
⑨ 主電源(MAIN POWER)スイッチ(22ページ)

主電源を「I」(入)、「O」(切) にすることができます。

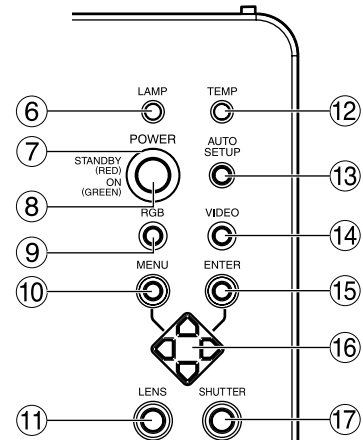
⑩ レンズキャップ

使用しないときは、レンズに取り付けてください。

本体後面・側面



天面操作部



① リモコン受光部(14ページ)

リモコン信号の受光部です。

② ランプユニット収納扉

ランプユニットが収納されています。

③ 通風孔

④ セキュリティロック用孔

市販の鎖などを通すことができます。

⑤ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。

また、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

日本国内総代理店の連絡先は下記の通りです。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号
はごろもビル

TEL:03-3537-1070 FAX:03-3537-1071

* 連絡先は変更になる可能性がありますので
ご了承ください。

⑥ ランプモニター(LAMP)(42ページ)

ランプユニットの交換時期になると点灯します。
またランプ回路に異常が発生すると点滅します。

⑦ 電源モニター(22ページ)

主電源(MAIN POWER)スイッチが「|」(入)の
とき赤色に点灯します。このとき本体のPOWER
ボタンまたはリモコンの電源入(|)ボタンを押す
と緑色に点灯します。

⑧ POWERボタン(22、23ページ)

電源の「入」「切」を行います。

⑨ RGB入力(RGB)ボタン

押すごとに以下のように入力が切り換わります。

→ RGB 1 → RGB 2 → DVI ←

⑩ メニュー(MENU)ボタン(28ページ)

メインメニューを表示したり、消したりします。
メニューが表示されているときは1つ前の画面に
戻したりすることができます。
メニューキーを3秒以上長押しすると、オンスク
リーン表示(OSD)の選択メニューが表示されます。

⑪ レンズ(LENS)ボタン(24ページ)

レンズのフォーカス、ズーム、シフト(位置)の調
整モードに設定します。

⑫ 温度モニター(TEMP)(42ページ)

本体内の内部温度の異常を点灯や点滅で表示します。

⑬ オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン (25ページ)

映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位
置の自動調整がされます。

⑭ ビデオ入力(VIDEO)ボタン

押すごとに以下のように入力が切り換わります。

VIDEO ↔ S-VIDEO

⑮ エンター(ENTER)ボタン(28ページ)

メニュー画面の項目の決定や実行をすることがで
きます。

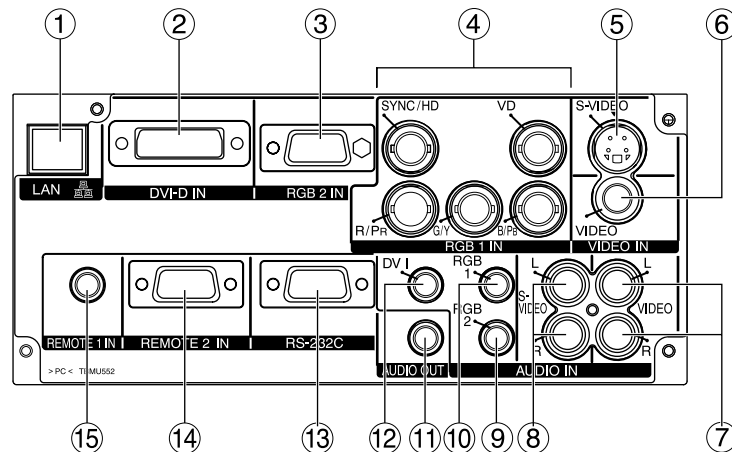
⑯ ▲ ▼ ◀ ▶ 選択ボタン(28ページ)

メニュー画面の項目の選択、設定の切り換え、音
量の調整およびレベルの調整ができます。
また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用
します。

⑰ シャッター(SHUTTER)ボタン(25ページ)

映像を一時的に消すことができます。

側面接続端子部

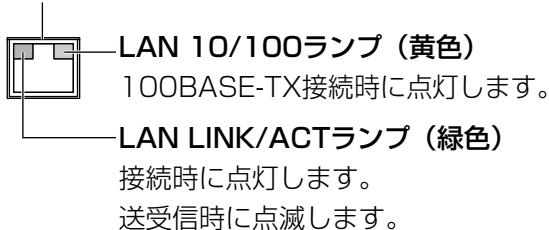


① LAN端子(38ページ)

パソコンから本機を制御するための端子です。
(10BASE-T/100BASE-TX準拠)

LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)

LANケーブルを接続します。



② DVI-D入力(DVI-D IN)端子(20ページ)

DVI-D信号を入力する端子です。(DVI 24ピン)

③ RGB2入力(RGB 2 IN)端子(20ページ)

RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。
(D-SUB 15ピンメス型)

④ RGB1入力(RGB 1 IN)端子(19、20ページ)

RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。
(BNC)

⑤ Sビデオ入力(S-VIDEO)端子(19ページ)

Sビデオ信号の入力端子です。(MIN4ピンDIN)
S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて
16:9と4:3の自動切り換えを行います。

⑥ ビデオ入力(VIDEO)端子(19ページ)

ビデオ信号の入力端子です。(RCA)

⑦ ビデオ音声入力 (VIDEO) 端子

ビデオ信号入力時の音声入力端子です。(RCA)

⑧ Sビデオ音声入力 (S-VIDEO) 端子

Sビデオ信号入力時の音声入力端子です。(RCA)

⑨ RGB2音声入力 (RGB2) 端子

RGB2信号入力時の音声入力端子です。(M3ステ
レオミニジャック)

⑩ RGB1音声入力 (RGB1) 端子

RGB1信号入力時の音声入力端子です。(M3ステ
レオミニジャック)

⑪ 音声出力 (AUDIO OUT) 端子

オーディオアンプ等に出力するときの音声出力端
子です。(M3ステレオミニジャック)。

⑫ DVI-D音声入力 (DVI) 端子

DVI-D信号入力時の音声入力端子です。(M3ステ
レオミニジャック)

⑬ シリアル入力(RS-232C)端子(20、39ページ)

パソコンを接続して本体を外部制御するための
RS232C準拠の入力端子です。(D-SUB 9ピンメ
ス型)

⑭ リモート2入力(REMOTE2 IN)端子(41ページ)

本体を外部制御回路を使用して遠隔操作するこ
とができます。(D-SUB 9ピンメス型)

⑮ リモート1入力(REMOTE1 IN)端子(16ページ)

ワイヤードリモコンケーブルで制御することができ
ます。(M3ステレオミニジャック)

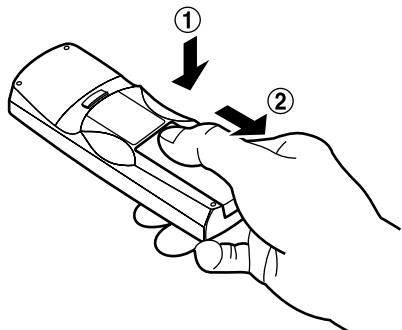
リモコンの使いかた

■ 乾電池の入れかた

付属の単4形乾電池を極性に注意して入れてください。

1. 電池ふたを開ける

① ②の順でふたを開けます。



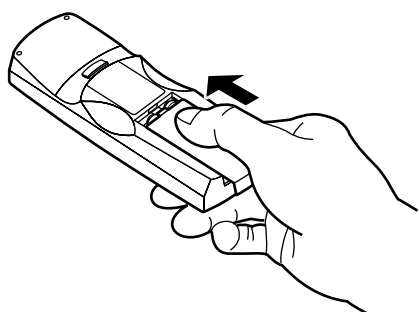
2. 乾電池を入れる

極性表示(+)、(-)に合わせて乾電池を入れます。



3. 電池ふたを閉める

ふたを元どおりにカチッと音がするまで閉めます。



お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
- ニカド電池は使用しないでください。

■ リモコンの有効操作範囲

リモコンの操作は、直接本体の前面・後面のリモコン受光部に向けて操作します。(図1)

また、図2のようにスクリーンの反射を利用して操作することもできます。

操作可能距離は前面または後面受光部の正面より約7 m以内です。

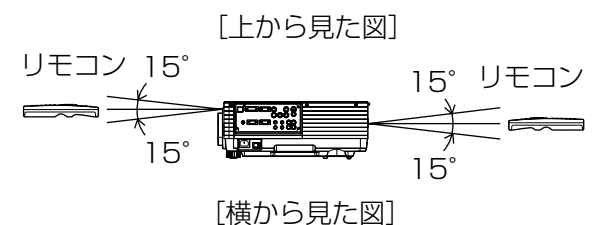
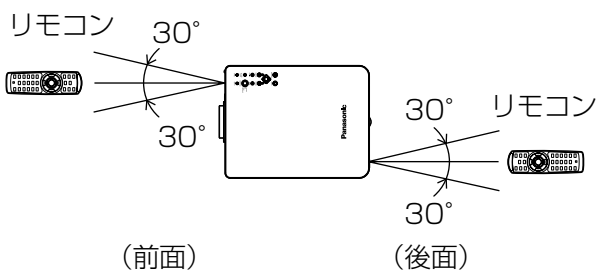


図1

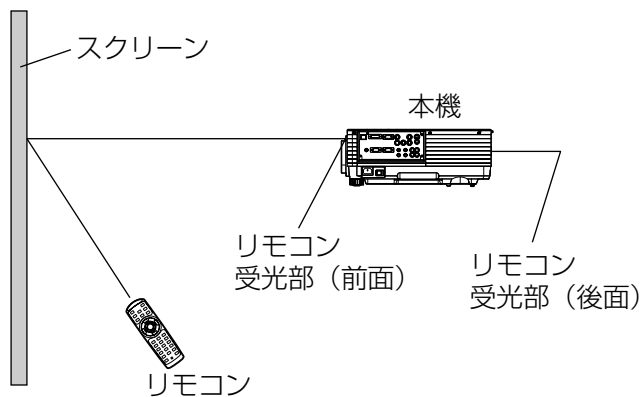


図2

お知らせ

- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限が出る場合があります。
- リモコンと受光部の間に障害物があると正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たるとリモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

■ リモコンのIDナンバーを指定する

本機にはIDナンバーが設定されており、リモコンを使用するためには、事前に制御する本機のIDナンバーをリモコンに指定しないと操作できません。なお、本機のIDナンバーは工場出荷時は「オール」に設定されていますので1台だけでご使用の場合は、リモコンはIDオール(ID ALL)ボタンをご使用ください。

設定方法

- ① 操作モード切り換えスイッチをコンピューター (Computer) 側に切り換える。
- ② IDセット(ID SET)ボタンを押したあと、5秒以内に、本機側で設定されている2けたのIDナンバーを数字(0~9)ボタンで設定する。

- ③ 操作モード切り換えスイッチをプロジェクター (Projector) 側に切り換える。

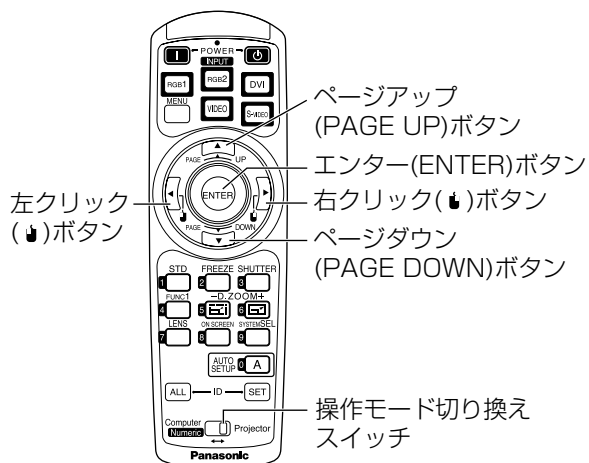
ただし、IDオール(ID ALL)ボタンを押した場合は、本機のIDナンバー設定に関係なく制御できます。(同時制御モード)

お願い • リモコンのIDナンバー指定は、本機がなくても可能なため、IDセット(ID SET)ボタンは不用意に押さないでください。

IDセット(ID SET)ボタンを押した場合は、5秒以内に数字ボタンを押さないとIDセット(ID SET)ボタンを押す以前のIDナンバーに戻ります。

- リモコンに入力されたIDナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくで消去されます。乾電池を交換した場合は、同じIDナンバーを再度設定してください。

■ リモコンをパソコンのマウス代わりに使う



操作モード切り換えスイッチ

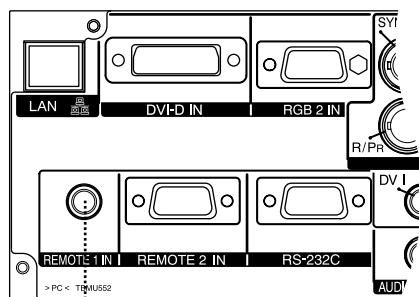
コンピューター(Computer)側に切り換えます。

- **エンター(ENTER)ボタン**
ボタンの前後左右の端を押すと、マウスカーソルを上下左右に移動できます。
- **右クリック(右)ボタン**
マウスの右ボタンとして使用できます。
- **左クリック(左)ボタン/クリックボタン**
マウスの左ボタンとして使用できます。
- **ページアップ(PAGE UP)ボタン**
パソコンのキーボードのPage Upボタンとして使用できます。
- **ページダウン(PAGE DOWN)ボタン**
パソコンのキーボードのPage Downボタンとして使用できます。
- **クリックボタン**
マウスの左ボタンとして使用できます。

お知らせ • リモコンをマウス代わりに使用する場合は別売品のワイヤレスマウスレシーバー(品番: ET-RMRC2)をお買い求めください。

■ ワイヤードリモコンで使う

本機の設置環境により、本機とリモコンの間に障害物があったり外光の影響を受けやすい場所で使用する場合は、市販のM3ステレオミニジャックケーブルを接続して制御します。



M3ステレオミニジャック
ケーブル（市販品）

お願い

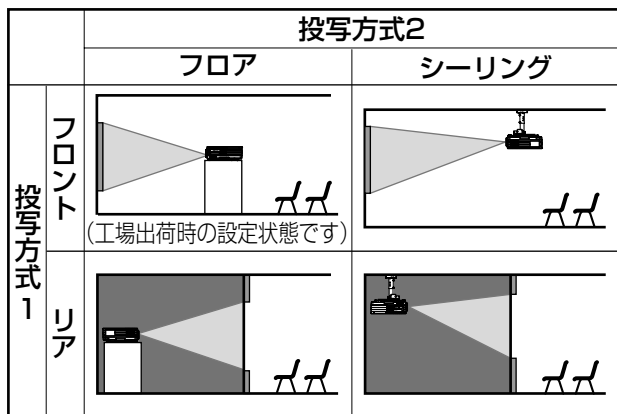
- ケーブルは長さが15 m以下、線種は2芯シールドケーブルを使用してください。ケーブルの長さが15 mを超える場合やケーブルのシールドが不十分な場合は動作しない場合があります。



設置する

■ 投写方式

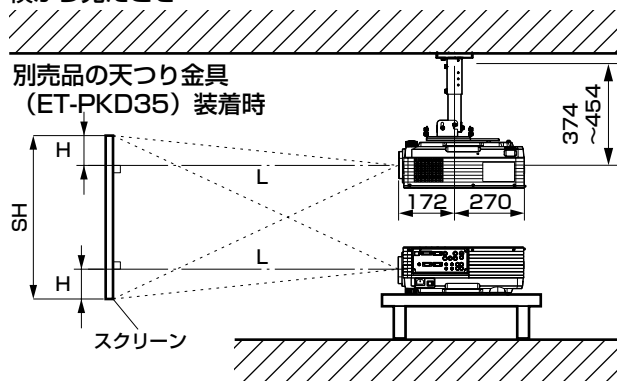
本機は、下図の4通りの投写方式が可能です。設置場所に合った投写方式を選択してください。投写方式の設定方法については、メニュー画面の「オプション2」で行うことができます。(35ページ参照)



■ 投写関係

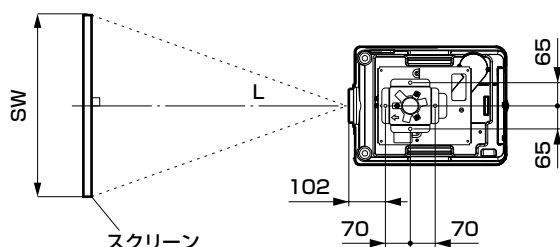
本機の設置は、下図を参考にして設置してください。なお、電動ズームレンズの採用により画面サイズの調整と、レンズ位置移動機能による画面位置の高さ調整が可能です。

横から見たとき



- L : 投写距離
- SH : 画像高さ
- SW : 画像幅
- H : レンズセンターと画像下端の距離

真上から見たとき



■ 投写距離

下表は、TH-D3500に付属している標準レンズの投写距離です。

別売の投写レンズの投写距離については61ページをご覧ください。

(SD : インチ, SH, SW, LW, LT, H : メートル)

画面サイズ (4 : 3)			投写距離 (L)		高さ位置 (H)
対角 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短 (LW)	最長 (LT)	
50	0.76	1.02	1.81	2.40	0~0.38
60	0.91	1.22	2.18	2.89	0~0.46
70	1.07	1.42	2.55	3.38	0~0.53
80	1.22	1.63	2.92	3.87	0~0.61
90	1.37	1.83	3.29	4.36	0~0.69
100	1.52	2.03	3.66	4.85	0~0.76
120	1.83	2.44	4.41	5.83	0~0.91
150	2.29	3.05	5.52	7.30	0~1.14
200	3.05	4.06	7.38	9.75	0~1.52
250	3.81	5.08	9.23	12.20	0~1.91
300	4.57	6.10	11.09	14.65	0~2.29
350	5.33	7.11	12.95	17.10	0~2.67
400	6.10	8.13	14.80	19.55	0~3.05
500	7.62	10.16	18.51	24.45	0~3.81
600	9.14	12.19	22.23	29.35	0~4.57

上記の表以外の投写寸法は下記の計算式で求めることができます。SDの単位はインチです。(1インチ=0.0254 m)

$$LW = 0.03713 \times SD - 0.05067$$

$$LT = 0.049 \times SD - 0.05$$

16 : 9の場合は、下記の計算式で画像幅 (SW) を求めることができます。

$$SW = (SD \times 0.0254) \times 16 \div \sqrt{337}$$

上記で求めたSWよりワイド時の投写距離 (LW)、テレ時の投写距離 (LT) を下記の計算式で求めることができます。

$$LW = 1.827 \times SW - 0.05067$$

$$LT = 2.411 \times SW - 0.05$$

お知らせ

- 上記の表の寸法や計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- ワイド時の投写距離で設置されることをおすすめします。
- 上記寸法は、画面サイズが4 : 3の場合を示しています。SXGA信号を入力して投写した場合、投写画面の左右がブランキングされ、画面サイズが5 : 4で投写されます。

お願い

- プロジェクターを積み重ねて使用しないでください。
- 後面の排気口をふさがないように30 cm以上の隙間をあけて設置してください。

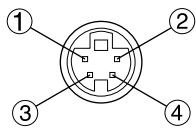
準備

接続する

■ 接続する前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画面がふらつくことがあります。
この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB信号（同期信号はTTLレベル）、およびパソコンからのデジタル信号です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。

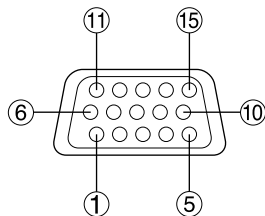
- Sビデオ入力（S-VIDEO IN）端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピンNo.	信号
①	アース（輝度信号）
②	アース（色信号）
③	輝度信号
④	色信号

- RGB2入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。

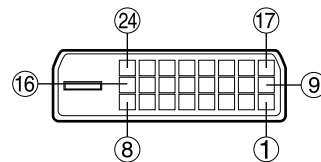


外側から見た図

ピンNo.	信号
①	R/P _R
②	G/G・SYNC/Y
③	B/P _B
④	SDA
⑤	HD/SYNC
⑥	VD
⑦	SCL

- ⑨は未使用です。
- ④～⑧、⑩、⑪はGND端子です。
- ⑫、⑮はパソコン側に機能があれば有効です。

- DVI-D入力端子のピン配列と信号名は、下記の通りです。（DVI-D出力付パソコン用端子）

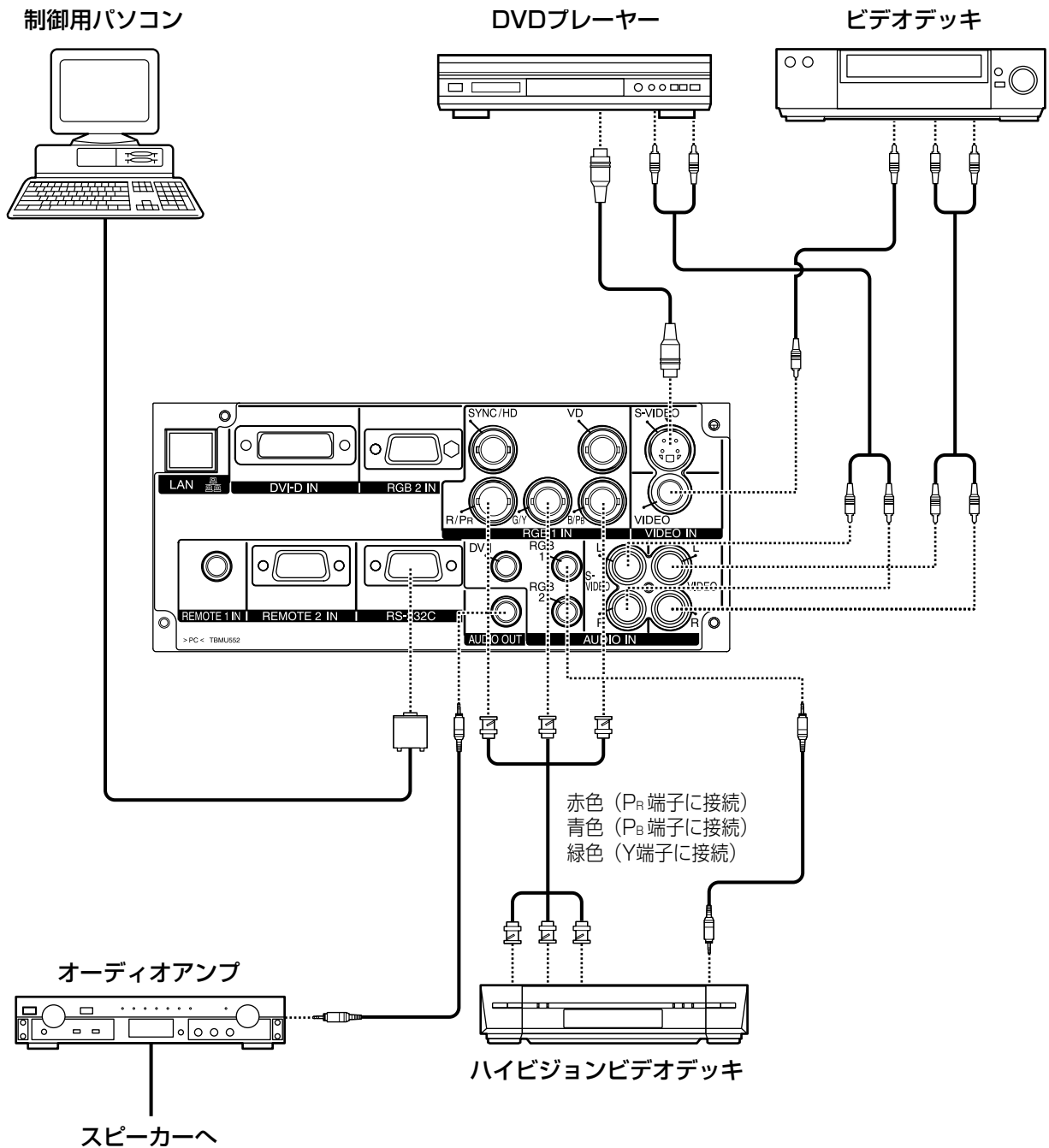


外側から見た図

ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
①	T.M.D.Sデータ2-	⑬	T.M.D.Sデータ3+
②	T.M.D.Sデータ2+	⑭	+5V
③	T.M.D.Sデータ2/ 4シールド	⑮	グラウンド
		⑯	ホットプラグ検出
④	T.M.D.Sデータ4-	⑰	T.M.D.Sデータ0-
⑤	T.M.D.Sデータ4+	⑱	T.M.D.Sデータ0+
⑥	DDCクロック	⑲	T.M.D.Sデータ0/5 シールド
⑦	DDCデータ		
⑧	—	⑳	T.M.D.Sデータ5-
⑨	T.M.D.Sデータ1-	㉑	T.M.D.Sデータ5+
⑩	T.M.D.Sデータ1+	㉒	T.M.D.Sクロック シールド
⑪	T.M.D.Sデータ1/3 シールド		
⑫	T.M.D.Sデータ3-	㉓	T.M.D.Sクロック+
		㉔	T.M.D.Sクロック-

- DVI-D入力端子はシングルリンクのみ対応しています。
- 接続するDVI機器に合わせて、EDID設定が必要です。（34ページ）
- DVI-D入力端子はDVI機器との接続ができますが、一部の機器では映像が出ないなど、正常に動作しない場合があります。

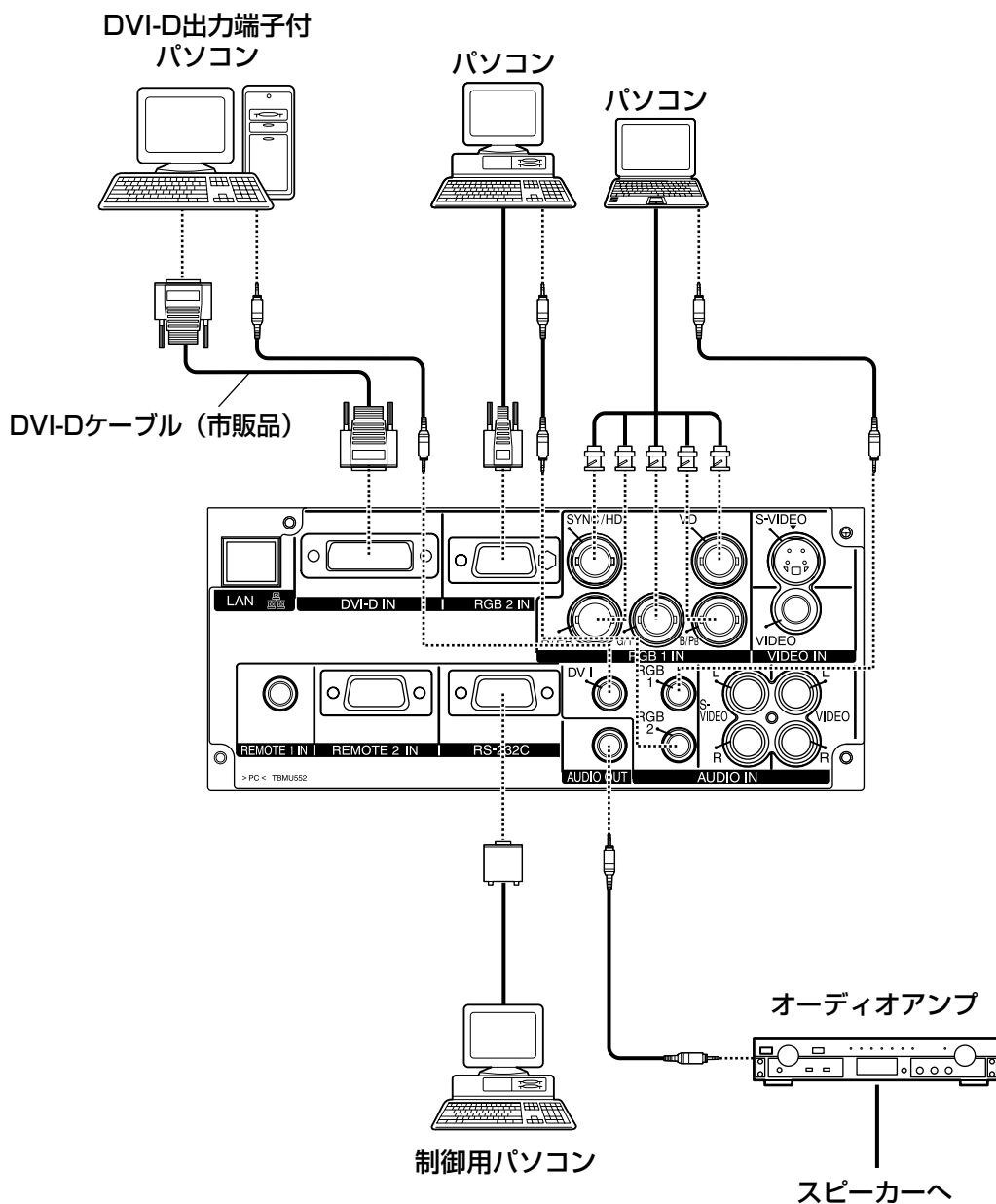
■ AV機器との接続例



お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ずTBC(タイムベースコレクター)内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にTBCを使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は本機との間にTBCを接続してください。

■ パソコンとの接続例



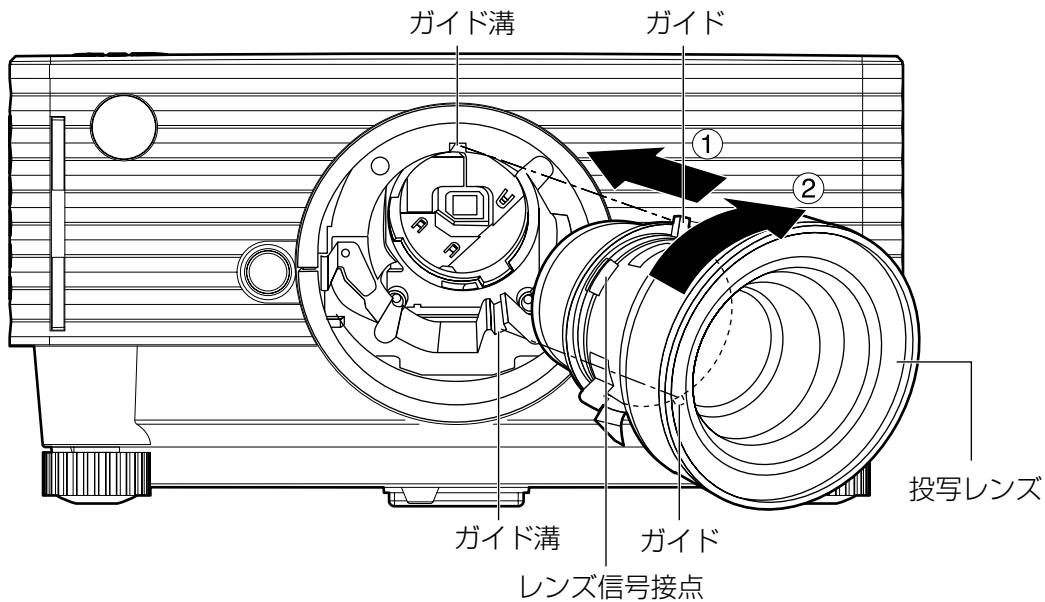
お知らせ

- 本機に接続できるパソコンからのRGB信号は、60ページに記載のデータを参照ください。
- レジューム機能（ラストメモリー）のパソコンを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。
- SYNC ON GREEN信号入力時にSYNC/HD、VD端子へ同期信号を入力しないでください。GREEN信号の同期を使用せずに、SYNC/HD、VD端子の同期信号を使用するため映像が乱れる場合があります。また、映像が乱れない場合でも白バランスがずれる場合があります。その場合は「色温度設定」（29ページ）を「ユーザー」に設定し、「白バランス低」を調整してください。
- SYNC ON RGB信号入力時に白バランスがずれる場合があります。その場合は「色温度設定」（29ページ）を「ユーザー」に設定し、「白バランス低」を調整してください。

投写レンズ（別売品）の取り付け／取り外しかた

■ 投写レンズの取り付けかた

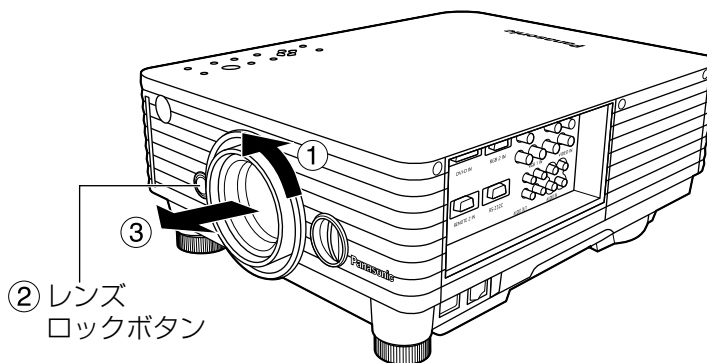
- ① 投写レンズのガイドを本体のガイド溝に合わせて奥まで差し込む。
- ② 時計方向に「カチッ」と音がするまで回す。



お願い • レンズを反時計方向に回して、抜けないことを確認してください。

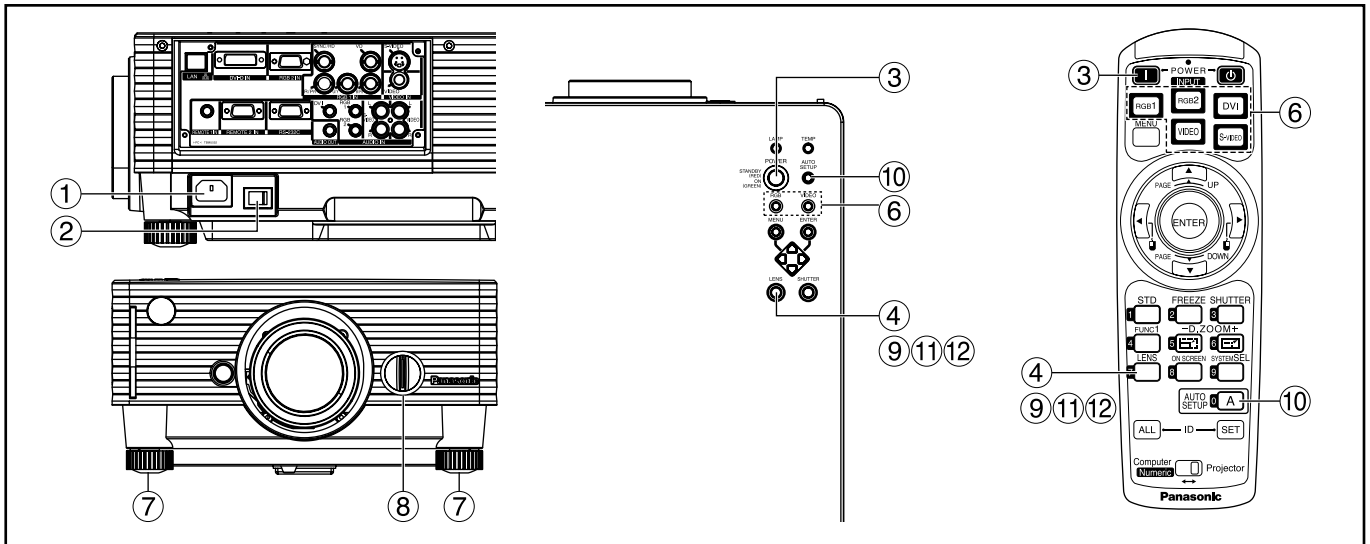
■ 投写レンズの取り外しかた

- ① 反時計方向に投写レンズを回しきる。
- ② レンズロックボタンを押しながら、さらに反時計方向に回す。
- ③ 投写レンズを取り出す。



- お知らせ**
- レンズ交換は本機の電源を切ってから行ってください。
 - レンズ信号接点には指を触れないようにしてください。ほこりや汚れなどにより、接触不良の原因となることがあります。
 - 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
 - 交換したレンズは振動や衝撃を与えないように保管してください。

投写する



■ 電源を入れる

あらかじめレンズキャップを外してください。

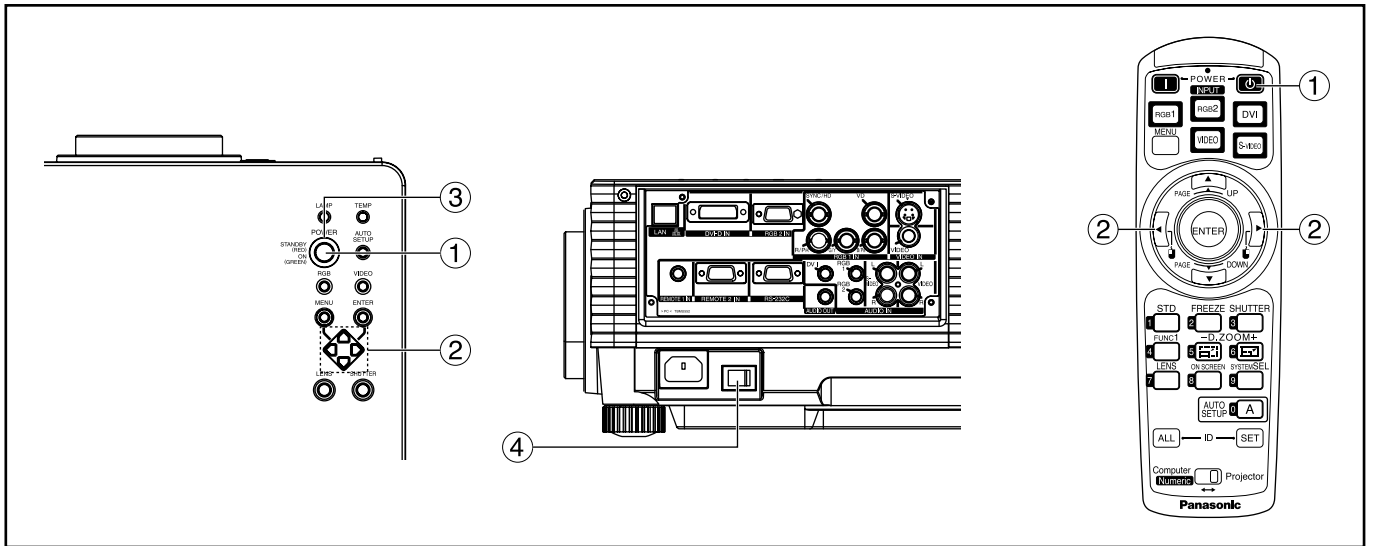
- ① 電源コード(付属)を接続する。
(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)
- ② 主電源(MAIN POWER)スイッチの「|」側を押し電源を入れる。
電源モニターが赤色に点灯してスタンバイ状態になります。
- ③ 本体のPOWERボタン、またはリモコンの電源入(|)ボタンを押す。
電源モニターが緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

■ 調整・選択をする

- ④ 画像のフォーカスをおおまかに合わせる。
(24ページ)
本体またはリモコンのレンズ(LENS)ボタンを押すとフォーカス調整画面が表示されます。▲ ▼ ボタンを押してフォーカスを合わせてください。
- ⑤ 投写方式を設定する。(35ページ)
- ⑥ 入力切り換えボタン(本体: RGB/VIDEOボタン、リモコン: RGB1/RGB2/VIDEO/S-VIDEO/DVIボタン)を押して入力信号を選択する。
- ⑦ セット脚を回して、本体の前後左右の傾きを調整する。
- ⑧ レンズ左右調整ダイヤルを使ってレンズの方向を調整する。(24ページ)

- ⑨ レンズ(LENS)ボタンを3回押し、レンズシフトを調整する。(24ページ)
- ⑩ 入力信号がRGB/DVI信号の場合はオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押す。… [本体またはリモコン]
- ⑪ 画像の大きさをスクリーンに合わせる。
レンズ(LENS)ボタンを2回押し、レンズズーム調整メニューでレンズズームを調整してください。
- ⑫ レンズ(LENS)ボタンを押し、レンズフォーカス調整メニューでレンズフォーカスを調整する。
- ⑬ 再度ズーム調整メニューを表示し、レンズズームを調整して画像の大きさをスクリーンに合わせる。(24ページ)

- お知らせ**
- 0°C付近での電源「入」は出画までに5分程度のウォームアップ時間が必要な場合があります。
ウォームアップ中は温度モニター(TEMP)が点灯します。
ウォームアップが完了すると温度モニター(TEMP)が消灯し、映像を投写します。
 - 使用環境温度が低く、ウォームアップ時間が5分を超える場合は、異常とみなし、自動的に電源を「切」にします。この場合は使用環境温度を0°C以上にし、再度主電源「入」→電源「入」(|)の操作を行ってください。



■ 電源の切りかた

- ① 本体のPOWERボタン、またはリモコンの電源切(⏻)ボタンを押す。
- ② ◀ ▶ ボタンで「実行」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押す。
(またはPOWERボタンを再度押す)
映像の投写が停止し、本体の電源モニターが橙色に点灯します。(冷却ファンは回転したままです。)
- ③ 本体の電源モニターが赤色に点灯(冷却ファンが停止)するまで待つ。
- ④ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「○」側を押して電源を切る。

お願い • 電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。

電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しません。この場合は光源ランプ冷却が終了したあと、再度電源を入れ直してください。
ランプの温度が高い状態で電源を入れるとランプの寿命を早める恐れがあります。

お知らせ • スタンバイ状態で冷却ファンが停止した状態でも約10 Wの電力を消費しています。(電源モニター…赤点灯)

- 使用中に間違って主電源を切った場合、電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。この場合は、しばらくたってから再度電源を入れ直してください。

■ ダイレクトパワーオフ機能について

停電時や電源を切った直後に電源コードを抜いても、内部に蓄えられた電力により冷却ファンが動作し、ランプの冷却を行います。

お知らせ

- ダイレクトパワーオフで冷却した場合、ランプの再点灯に通常よりも時間がかかることがあります。
- 冷却ファンが動作しているときは、箱や袋に入れたりしないでください。
- 電源を入れている状態が約2分以内の場合、冷却ファンの動作時間が短くなります。

レンズ調整のしかた

■ レンズフォーカス調整、レンズズーム調整、レンズ上下位置移動(光学シフト)調整のしかた

本機とスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像のフォーカス、ズーム、上下位置を調整できます。

① リモコンまたは本体操作部のレンズ(LENS)ボタンを押す

ボタンを押すごとに「レンズ フォーカス」「レンズ ズーム」「レンズ シフト」の順に設定画面が切り換わります。

② それぞれの調整項目を選び、▲ ▼ ボタンで調整する

お知らせ

- ズーム機能のないレンズを使用した場合でもズーム調整メニューが表示されますが動作はしません。
- レンズ上下位置シフトは、標準の位置から投写画面高さの50%上方向の間で上下調整できます。
- 約3秒以上 ▲ ▼ ボタンを押し続けると、速く動作させることができます。

注意

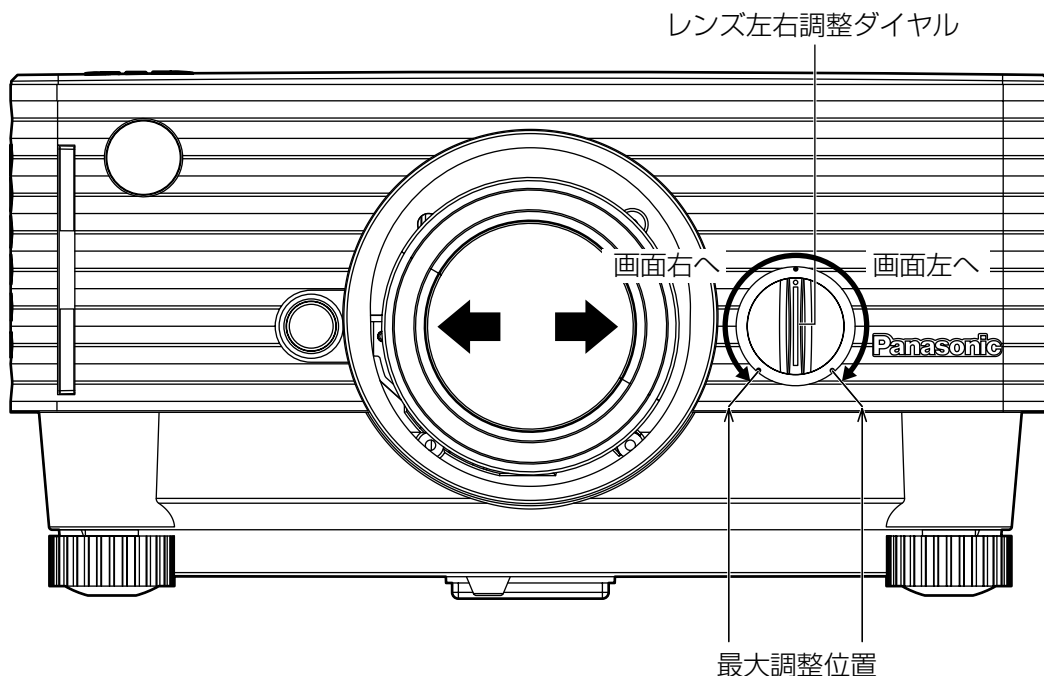


指に注意

レンズシフト動作中は、周辺の開口部に手を挟まれないよう注意する。

■ レンズ位置左右調整のしかた

レンズ左右調整ダイヤルを時計方向に回すと画面は左へ動き、反時計方向に回すと画面は右へ動きます。左右の最大移動距離はそれぞれ投写画面幅の10%です。



お願い

- レンズ左右調整ダイヤルは最大調整位置までの位置で調整してください。無理に回すと故障の原因になります。

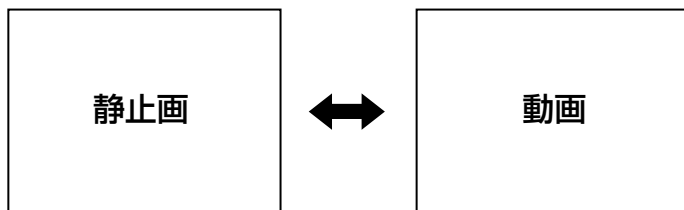
オートセットアップ(AUTO SETUP)機能について

オートセットアップ(AUTO SETUP)機能は、コンピューター信号のようなドット構成されたアナログRGB信号を入力したとき、解像度、クロックフェーズ、映像位置を自動で調整するものです。(動画入力、およびドットクロックが108 MHz以上の信号は自動調整できません。) また、DVI信号を入力したときは映像位置を自動調整します。自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをおすすめします。写真やCGのような中間調を含む画像は適しません。

- お知らせ**
- 正常終了した場合でも「クロックフェーズ」がずれることがあります。
このときは「クロックフェーズ」を手動で調整してください。
 - 画面の端がわからないような画像や暗い画像を入力すると、自動調整できません。
また、コンポジットシンクやG-SYNCの同期信号、およびパソコンの機種によっては自動調整できない場合があります。
このときは「入力解像度」「クロックフェーズ」「ポジション」の項目を手動で調整してください。
 - 自動調整中約4秒程度画像が乱れる場合がありますが異常ではありません。

フリーズ(FREEZE)機能を使う

リモコンのフリーズ (FREEZE) ボタンを押すと画面を静止させることができます。



- お知らせ**
- 音声が消えます。

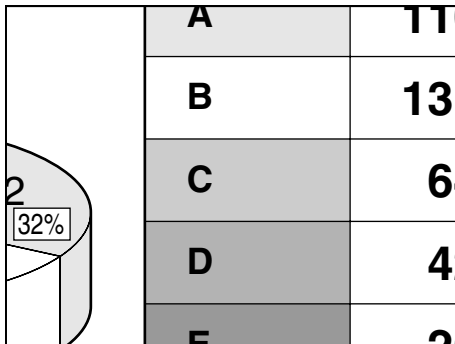
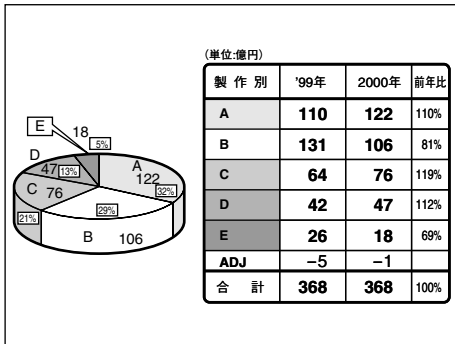
シャッター(SHUTTER)機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像を一時的に消すことができるシャッターモードにすることができます。

- ① リモコンまたは本体操作部のシャッター (SHUTTER) ボタンを押す。
映像と音声が消えます。
- ② リモコンまたは本体操作部のシャッター (SHUTTER) ボタンを押す。
映像と音声が出ます。

デジタルズーム(－ D.ZOOM ＋)機能を使う

リモコンのデジタルズーム(－ D.ZOOM ＋)ボタンを押すことで映像を部分的に拡大できます。拡大したい部分をスポット表示することでプレゼンテーション時の演出効果を出すことができます。



- ① リモコンのデジタルズーム(－ D.ZOOM ＋)ボタンを押す。
映像を拡大して表示します。
- ② デジタルズーム(－ D.ZOOM ＋)ボタンで倍率を変える。
倍率は1.0倍～3.0倍まで調整できます。
- ③ ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで拡大した画面を移動させる。
- ④ メニュー(MENU)ボタンを押し、元の画面に戻す。

お知らせ

- デジタルズームされた状態は記憶されません。
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わるとデジタルズーム機能が解除されます。
- 「ポジション」のズームとデジタルズームの合計倍率は最大で9.99倍です。

オンスクリーンメニューについて

■メニュー画面一覧

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。
本機のメニュー全体の構成は下図の通りです。

メインメニュー

メインメニュー	
映像	
ポジション	
アドバンスドメニュー	
音声	
言語 [LANGUAGE]	
オプション1	
オプション2	
テストパターン	
セキュリティ	
ネットワーク	
◆ 選択 [ENTER] 実行 [MENU] 戻る	

ネットワーク (38ページ)

ネットワーク	
ホスト名	
DHCP ◀ オフ ▶	
IPアドレス	
ネットマスク	
ゲートウェイ	
MACアドレス	
保存	
◆ 選択 [ENTER] 実行 [MENU] 戻る	

セキュリティ (37ページ)

テストパターン (37ページ)

オプション2 (35ページ)

オプション2	
ID ◀ オール ▶	
投写方式1 ◀ フロント ▶	
投写方式2 ◀ フロア ▶	
ランパワー ◀ 高 ▶	
RS232C	
システム情報	
ファン制御1 ◀ 標準 ▶	
ファン制御2 ◀ 水平 ▶	
FUNC1設定	
◆キー設定 ◀ 標準 ▶	
オートパワーオフ ◀ オフ ▶	
パスワード	
◆ 選択 [調整] [MENU] 戻る	

オプション1 (34ページ)

オプション1	
カラーコレクション	
コントラストモード	
入力自動セットアップ ◀ オフ ▶	
バックカラー ◀ ブラック ▶	
サブメモリー一覧	
DVI EDID ◀ EDID2:PC ▶	
◆ 選択 [ENTER] 実行 [MENU] 戻る	

映像 (29ページ)

RGB信号入力時

映像	
映像モード ◀ グラフィック ▶	
黒レベル 32 [調整]	
ピクチャー 32 [調整]	
色温度設定 ◀ デフォルト ▶	
白ゲイン 50 [調整]	
シャープネス 6 [調整]	
ノイズリダクション ◀ オフ ▶	
AI ◀ オン ▶	
システム ◀ RGB ▶	
◆ 選択 [調整] [MENU] 戻る	

DVI信号入力時

映像	
映像モード ◀ グラフィック ▶	
黒レベル 32 [調整]	
ピクチャー 32 [調整]	
色温度設定 ◀ デフォルト ▶	
白ゲイン 50 [調整]	
シャープネス 6 [調整]	
ノイズリダクション ◀ オフ ▶	
AI ◀ オン ▶	
◆ 選択 [調整] [MENU] 戻る	

Sビデオ/ビデオ信号入力時

映像	
映像モード ◀ スタンダード ▶	
黒レベル 32 [調整]	
ピクチャー 32 [調整]	
色の濃さ 32 [調整]	
色あい 32 [調整]	
色温度設定 ◀ デフォルト ▶	
白ゲイン 25 [調整]	
シャープネス 6 [調整]	
ノイズリダクション ◀ オフ ▶	
AI ◀ オン ▶	
TVシステム ◀ AUTO1 ▶	
◆ 選択 [調整] [MENU] 戻る	

YPbPr信号入力時

映像	
映像モード ◀ スタンダード ▶	
黒レベル 32 [調整]	
ピクチャー 32 [調整]	
色の濃さ 32 [調整]	
色あい 32 [調整]	
色温度設定 ◀ デフォルト ▶	
白ゲイン 25 [調整]	
シャープネス 6 [調整]	
ノイズリダクション ◀ オフ ▶	
AI ◀ オン ▶	
システム ◀ AUTO ▶	
◆ 選択 [調整] [MENU] 戻る	

アドバンスドメニュー (32ページ)

アドバンスドメニュー	
デジタルシネマリアリティー	
ブラッキング	
入力解像度	
クランプ位置 1	
ラスターポジション	
SXGAモード ◀ SXGA ▶	
◆ 選択 [ENTER] 実行 [MENU] 戻る	

ポジション (31ページ)

ポジション	
ポジション	
アスペクト ◀ 4:3 ▶	
ズーム	
クロックフェーズ 16 [調整]	
台形補正	
◆ 選択 [ENTER] 実行 [MENU] 戻る	

音声 (33ページ)

音声	
音量 32 [調整]	
音声ミュート ◀ オフ ▶	
◆ 選択 [ENTER] 実行 [MENU] 戻る	

言語 (33ページ)

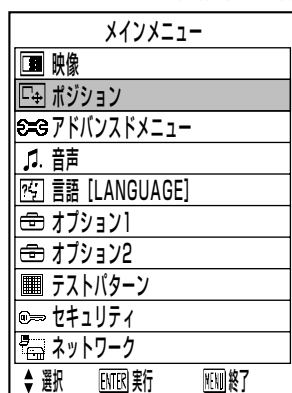
言語	
日本語	
ENGLISH	
DEUTSCH	
FRANCAIS	
ESPAÑOL	
ITALIANO	
日本語	
中文	
PYCKOM	
한국어	
◆ 選択 [ENTER] 実行 [MENU] 戻る	

使
い
か
た

■ メニュー画面の基本操作

① メニュー(MENU)ボタンを押す。

メインメニュー画面を表示します。



② ▲ または ▼ ボタンを押して項目を選択する。

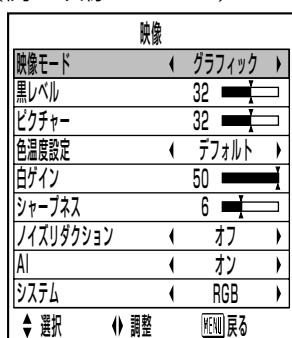
選択中の項目は青色で表示します。



③ エンター(ENTER)ボタンを押して決定する。

選択したメニュー画面の詳細が表示されます。

(例：映像メニュー)



④ ▲ または ▼ ボタンを押して項目を選択し、 ◀ または ▶ ボタンを押して設定の切り換え や調整をする。

(個別調整画面例)



- 個別調整画面表示中、約5秒間ボタン操作をしないと、前の画面に戻ります。

■ 前の画面に戻すには

- メニュー画面が表示されている状態のときにメニュー(MENU)ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- メインメニュー画面が表示されている状態のときにメニュー(MENU)ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

■ メニュー画面の項目の透明文字表示について

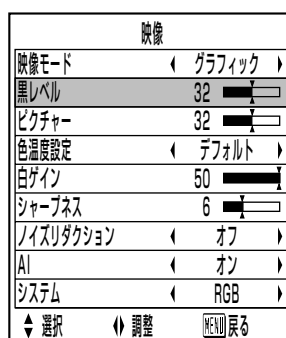
- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が透明の文字で表示され、エンター(ENTER)ボタンを押しても使用できません。

■ メニュー画面の表示について

- 選択された項目によりメニューの最下部の表示が異なります。
- 設定の切り換え時は「◀ ▶ 調整」と表示されます。
- バースケール(調整)項目は「ENTER 実行」と表示されます。
- 「オプション」画面表示で項目の下または上に▼や▲が表示されるときは、調整(項目)に続きがあることを示します。

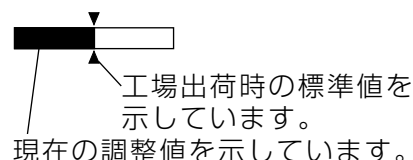
■ 調整値を工場出荷状態に戻す

調整項目を選び、スタンダード(STD)ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。



- バースケールは標準値に戻すと白色に表示されます。

お知らせ • バースケールの上下の三角マークは工場出荷状態を示してします。三角マークがない項目は、工場出荷状態に戻せません。



工場出荷時の標準値を示しています。
現在の調整値を示しています。

映像の調整

● RGB信号入力時

映像	
映像モード	グラフィック
黒レベル	32
ピクチャー	32
色温度設定	デフォルト
白ゲイン	50
シャープネス	6
ノイズリダクション	オフ
AI	オン
システム	RGB
◆ 選択 ◀ 調整 MENU 戻る	

● DVI信号入力時

映像	
映像モード	グラフィック
黒レベル	32
ピクチャー	32
色温度設定	デフォルト
白ゲイン	50
シャープネス	6
ノイズリダクション	オフ
AI	オン
◆ 選択 ◀ 調整 MENU 戻る	

● Sビデオ/ビデオ信号入力時

映像	
映像モード	スタンダード
黒レベル	32
ピクチャー	32
色の濃さ	32
色あい	32
色温度設定	デフォルト
白ゲイン	25
シャープネス	6
ノイズリダクション	オフ
AI	オン
TVシステム	AUTO1
◆ 選択 ◀ 調整 MENU 戻る	

● YPbPr信号入力時

映像	
映像モード	スタンダード
黒レベル	32
ピクチャー	32
色の濃さ	32
色あい	32
色温度設定	デフォルト
白ゲイン	25
シャープネス	6
ノイズリダクション	オフ
AI	オン
システム	AUTO
◆ 選択 ◀ 調整 MENU 戻る	

■ 映像モード

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えることができます。

ダイナミック：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。

グラフィック：パソコン使用時に適した画像になります。

スタンダード：動画系全般に適した画像になります。

シネマ：映画再生に適した画像になります。

ナチュラル：暗い部屋で使用する場合に適した画像になります。

■ 黒レベル

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

▶ ボタンを押すと：画面が明るくなります。

◀ ボタンを押すと：画面が暗くなります。

■ ピクチャー

色の明暗度を調整します。

▶ ボタンを押すと：画面が明るく映像が濃くなります。

◀ ボタンを押すと：画面が暗く映像が薄くなります。

■ 色の濃さ (Sビデオ/ビデオ/YPbPr信号入力時のみ)

▶ ボタンを押すと：色が濃くなります。

◀ ボタンを押すと：色が薄くなります。

■ 色あい (Sビデオ/ビデオ/YPbPr信号入力時のみ)

肌色の部分を調整します。

▶ ボタンを押すと：色あいが変化し肌色が緑色がかかった色になります。

◀ ボタンを押すと：色あいが変化し肌色が赤紫色がかかった色になります。

■ 色温度設定

映像の白色部分が赤み、または青みを帯びたりしている場合に調整します。

デフォルト：標準の設定です。

高：白色部分をより青白く調整します。

中：やや赤色気味に調整します。

ユーザー：白バランスのRGBの値を個別に設定します。

エンター (ENTER) ボタンを押し、「白バランス高」または「白バランス低」のいずれかを選び、詳細の設定を行ってください。

▶ ボタンを押すと：

選択した項目の色が強くなります。

◀ ボタンを押すと：

選択した項目の色が弱くなります。

■ 白ゲイン

映像の白色部分の明るさを調整します。

▶ ボタンを押すと：白色の輝きが強くなります。

◀ ボタンを押すと：自然な画像になります。

■ シャープネス

映像の画質を調整します。

- ▶ ボタンを押すと：画質がシャープになります。
- ◀ ボタンを押すと：画質がソフトになります。

■ ノイズリダクション

映像ノイズを軽減するモードです。

(Sビデオ/ビデオ/YPbPr信号入力時)

- オフ：補正なし
- オン：ノイズリダクションをオンにします。

(RGB/DVI信号入力時)

- オフ：補正なし
- 1：弱
- 2：中
- 3：強

■ AI

映像に合わせて階調制御を行い、コントラスト感のある最適な映像を投写します。

- オン：標準の設定です。
- オフ：AIモードをオフにします。

■ TVシステム

(Sビデオ/ビデオ信号入力時)

TVシステムに応じた設定をします。

- AUTO1：標準の設定です。
NTSC/PAL/NTSC4.43/SECAM/
PAL60の中から自動選択します。
- AUTO2：NTSC/PAL-M/PAL-Nの中から自動選択します。

- 通常は「AUTO1」または「AUTO2」に設定します。
- 信号の劣化により、正常に表示しない場合はそれぞれのTVシステムに設定を変えてください。

下表の水平/垂直走査周波数、色副搬送波の違いを検知して自動選択します。

信号方式	水平走査 周波数(kHz)	垂直走査 周波数(Hz)	色副搬送波 (MHz)
NTSC	15.75	60.00	3.58
NTSC4.43	15.75	60.00	4.43
PAL	15.63	50.00	
PAL-M	15.75	60.00	3.58
PAL-N	15.63	50.00	
SECAM	15.63	50.00	4.25または4.41
PAL60	15.75	60.00	4.43

■ システム (RGB/YPbPr信号入力時)

RGB方式とYPbPr方式を切り換えることができます。
対応する信号については60ページをご覧ください。

ポジションの調整

ポジション	
ポジション	
アスペクト	◀ 4:3 ▶
ズーム	
クロックフェーズ	16 <input type="checkbox"/>
台形補正	
◀ 選択	ENTER 実行
	RETURN 戻る

■ ポジション

映像の表示位置を移動させることができます。

◀ ▶ : 水平方向に移動します。

▲ ▼ : 垂直方向に移動します。

■ アスペクト

AUTO : (Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ)

Sビデオ端子にS1映像信号が入力されると自動的に16:9の映像投写に切り換わります。ビデオ端子にビデオID (VID) 付きの映像信号が入力されると自動的に16:9の映像投写に切り換わります。

16:9 : 16:9に映像を圧縮して投写します。

4:3 : 入力された信号をそのまま投写します。

S4:3 : 入力された信号のサイズを75%に圧縮して投写します。(16:9スクリーンに4:3映像を投写する場合に有効です)

S1映像信号とは

- ワイド対応ビデオデッキなどから出力される検知信号が付加されている16:9の映像信号です。
- 「AUTO」設定では本機は検知信号を検出し、16:9に自動的に変換して映像を投写します。

お願い

- 入力信号と異なるアスペクト比を選択されると、オリジナルの映像と見えかたに差がでます。この点にご留意のうえ、アスペクト比を選択してください。

お知らせ

- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド画像でない従来(通常)の4:3の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、4:3の映像でご覧ください。

■ ズーム

拡大率を変えて表示させることができます。

◀ ▶ ボタンを押すと：水平方向の拡大率を変えます。

▲ ▼ ボタンを押すと：垂直方向の拡大率を変えます。

■ クロックフェーズ

(RGB/YPbPr信号入力時のみ)

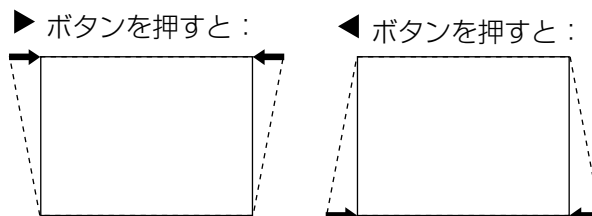
◀ ▶ ボタンを押してノイズが目立たないように調整してください。

お知らせ

- ドットクロック周波数が108MHz以上の信号を投写する場合は「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。
- デジタル信号入力時は調整することができません。

■ 台形補正

台形補正：投写画面が台形歪になっている場合に水平方向のみ台形歪の調整ができます。



お知らせ

- 台形歪は本機の前後の傾きに対して±30°まで補正できますが、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるよう設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。

リニアリティ：「台形補正」の調整後に◀または▶ボタンでこの調整を行ってください。

台形補正の調整値が「0」の場合はリニアリティの項目は表示されません。

アドバンスドメニュー

アドバンスドメニュー	
デジタルシネマリアリティー	
ブランキング	
入力解像度	
クランプ位置	1
ラスタ位置	
SXGAモード	◀ SXGA ▶
▲ 選択	ENTER 実行
	MENU 戻る

■ デジタルシネマリアリティー

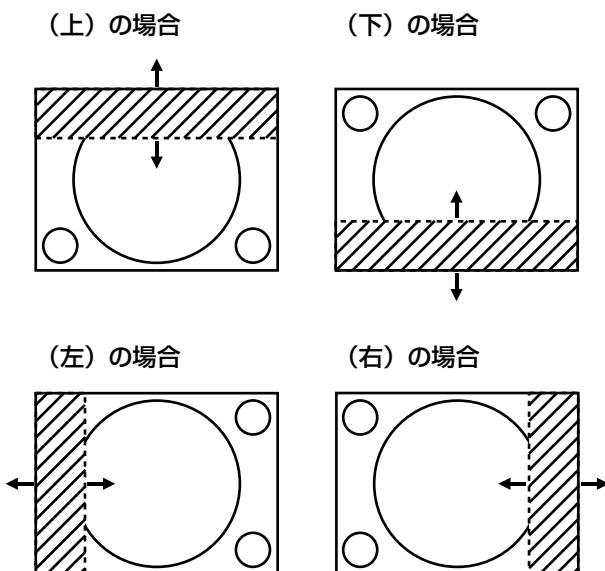
(Sビデオ/ビデオ/YPbPr[480i, 576i]信号入力時のみ)

- オン : 映画など毎秒24コマの撮影映像を忠実に映したいときに設定します。
- オフ : オンに設定すると不自然な画像になる場合に設定します。

■ ブランキング

ビデオデッキなどの映像投写時に画面端にノイズが出ている場合やスクリーンから画像がわずかにみ出ている場合などにブランキングで微調整します。

- ▲ ▼ ボタン : 上下左右の調整項目を選択します。
- ◀ ▶ ボタン : ブランキングの幅を調整します。



■ 入力解像度

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- ▲ ▼ ボタン : 下記の各項目を選択します。
- ◀ ▶ ボタン : 値を指定します。

「総ドット数」「表示ドット数」「総ライン数」「表示ライン数」

各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

お知らせ

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 入力解像度が調整できるのは、RGB1、RGB2入力でRGB信号を入力した場合のみです。

■ クランプ位置 (RGB/YPbPr信号入力時のみ)

映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合はクランプ位置調整で最良点にします。

- ◀ ▶ ボタンで調整します。

調整値は1~255まで変化します。

クランプ位置調整の最適値は

- 黒部分がつぶれている場合
→ 黒部分のつぶれがもっとも改善する点が最適値です。
- 黒部分が緑色になっている場合
→ 緑色部分が黒くなりつぶれていない点が最適値です。

お知らせ

- クランプ位置の調整ができるのは、RGB1、RGB2入力で信号を入力した場合のみです。

■ ラスタ位置

入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動させることができます。

- ◀ ▶ : 水平方向の値を調整します。
- ▲ ▼ : 垂直方向の値を調整します。

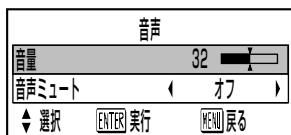
■ SXGAモード

SXGA (RGB) 信号を入力したときのみ有効となります。

SXGA : 標準の設定です。

SXGA+ : 画面が切れている場合に設定してください。

音声の調整



■ 音量

音声を調整します。

- ◀ ボタンを押すと：音量が下がります。
- ▶ ボタンを押すと：音量が上がります。

■ ミュート

音声の有無を切り換えます。

- オン：音声なしに設定します。
- オフ：音声ありに設定します。

お知らせ • 映像信号が表示されていないときは音声を出力しません。

表示言語の切り換え



— 現在設定されている言語を表示します。

切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。

英語 (ENGLISH)、ドイツ語 (DEUTSCH)、フランス語 (FRANÇAIS)、スペイン語 (ESPAÑOL)、イタリア語 (ITALIANO)、日本語、中国語 (中文)、ロシア語 (PYCCKИИ)、韓国語 (한국어) の切り換えができます。

お知らせ • 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。(工場出荷時)

使
い
か
た

オプション1の設定

オプション1	
カラーコレクション	
コントラストモード	
入力自動セットアップ	← オフ →
バックカラー	← ブラック →
サブメモリー一覧	
DVI EDID	← EDID2:PC →
↓ 選択	ENTER 実行
	MENU 戻る

■ カラーコレクション

- オフ : 標準の設定です。
- ユーザー : ビデオ、Sビデオ、RGB、YPbPrの4つの信号方式ごとに赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄の6色を調整し、登録することができます。エンター (ENTER) ボタンを押し、詳細の設定を行ってください。

カラーコレクション	
	RGB
R	0
G	0
B	0
Cy	0
Mg	0
Ye	0
↓ 選択	↑ 調整
	MENU 戻る

現在の信号方式を表示します。

■ コントラストモード

使用環境に合わせるために2種類のモードを持っています。

- 標準 : コントラストは標準で、明るさを最大に設定します。
- 高 : コントラストは最大で、明るさを標準に設定します。

■ 入力自動セットアップ

会議などで信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンのオートセットアップ(AUTO SETUP) ボタンを押さなくても画面表示位置を自動で調整することができます。

- オン : 投写中の映像信号が変わった場合に自動的にオートセットアップを行います。
- オフ : 入力自動セットアップ機能をオフにします。

■ バックカラー

本機に信号が入力されていないときの画面の色を設定します。

- ブルー : 青色に設定します。
- ブラック : 黒色に設定します。

■ サブメモリー一覧

信号の種類が同じ画像調整データ (映像、ポジション、アドバンスドメニューの調整値) を複数登録できます。

サブメモリー一覧	
-: RGB-XGA60	
1:	
2:	
3:	
4:	
5:	
6:	
7:	
8:	
↓ 選択	ENTER 保存
	MENU 戻る

サブメモリーへの登録方法

- ▲ ▼ ボタンで登録するサブメモリー番号を選択する。
- エンター (ENTER) ボタンを押す。

お知らせ • サブメモリーは1から8まであります。

サブメモリーへの切り換え方法

- ▲ ▼ ボタンで切り換えるサブメモリー番号 (1~8) を選択する。サブメモリーを使用しない場合は「-」を選択する。
- エンター (ENTER) ボタンを押す

お知らせ • 異なる信号方式のサブメモリーは選択できません。

サブメモリーの削除方法

- ▲ ▼ ボタンで削除するサブメモリー番号 (1~8) を選択する。
- スタンダード (STD) ボタンを押す。
- 削除するサブメモリー表示が点滅するので、エンター (ENTER) ボタンを押す。

■ DVI EDID

接続機器に合わせてEDIDの設定を行います。

モード	対応信号
EDID1	480p、576p、720/60p、1080/60i、1080/50i
EDID2:PC	VGA480/60、SVGA/60、XGA/60、XGA/70、XGA/85、SXGA/60

オプション2の設定

オプション2	
ID	← オール →
投写方式1	← フロント →
投写方式2	← フロア →
ランプパワー	← 高 →
RS232C	
システム情報	
ファン制御1	← 標準 →
ファン制御2	← 水平 →
FUNC1設定	
▲キー設定	← 標準 →
オートパワーオフ	← オフ →
パスワード	
↓ 選択	↔ 調整
	MENU戻る

■ ID

本機にはIDナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1つのリモコンで同時制御や個別制御できます。**工場出荷時は「オール」に設定されていますので、1台だけでご使用の場合はIDナンバーの設定の必要はありません。**

1～64：IDナンバーをこの範囲で設定します。

- お知らせ**
- IDナンバーは「オール」「1」～「64」まで設定可能です。
 - IDナンバーを指定した場合は、リモコンのIDナンバーを本機のIDナンバーに合わせる必要があります。
 - IDナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、何番を指定してもIDナンバー「オール」の本機は動作します。本機を複数台並べて設置の場合、IDナンバーを「オール」に設定していると、他のIDナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。リモコンのID設定のしかたは15ページをご参照ください。

■ 投写方式1

本体の設置方法に合わせて切り換えます。

- フロント：反射式スクリーンを使用してスクリーンの前方に本機を設置する場合。
- リア：透過式スクリーンを使用してスクリーンの後方に本機を設置する場合。

■ 投写方式2

本体の設置方法に合わせて切り換えます。

- フロア：机の上などに設置する場合。
- シーリング：天井などに天つり金具（別売品）を利用して設置する場合。

■ ランプパワー

本体の使用環境や目的に合わせてランプの明るさを切り換えることができます。

高：高い輝度が必要なときに設定します。

低：高い輝度を必要としないときに設定します。

- お知らせ**
- 「低」の場合は、消費電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命をのばすことができます。
 - ロングライフランプユニット使用時は、自動で「低」に設定されます。

■ RS232C

シリアル端子での通信条件設定を行います。

シリアル端子については、「シリアル端子を使う」（39ページ）をご覧ください。

通信速度：9 600、19 200、38 400
のいずれかを選びます。

パリティ：なし、偶数、奇数のいずれかを選びます。

■ システム情報

本機のシステムの情報を見ることができます。

システム情報	
ROMバージョン	1.00.00
セット使用時間	300h
ランプ 低	100h
高	200h
合計	300h
ランプオン	20
ランプタイプ	LAD35
	MENU戻る

■ ファン制御1

使用する状況によってファンを制御します。

標準：標準の設定です。

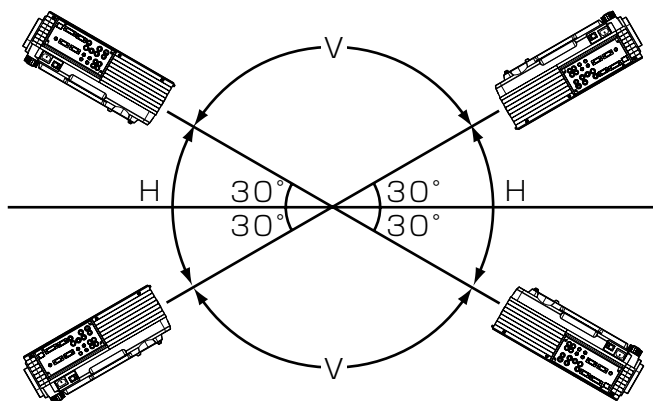
高地：海拔1 400 m以上で使用するときを選びます。

■ ファン制御2

投写する方向によってファンを制御します。

水平 : 標準の設定です。

垂直 : 垂直方向に大きく傾けて（水平から30度を越える角度で）投写するときに選びます。



H : 「水平」を選ぶ

V : 「垂直」を選ぶ

- お願い**
- 投写する方向に合わせて、「ファン制御2」を正しく設定してください。誤った設定のまま使用するとランプの寿命を早める原因になります。

■ FUNC1設定

リモコンのFUNC1ボタンの機能を設定します。

ランプパワー : 「オプション2」の「ランプパワー」と同じ働きをします。

アスペクト : 「ポジション」の「アスペクト」と同じ働きをします。

サブメモリー一覧 : 「オプション1」の「サブメモリー一覧」と同じ働きをします。

音声 : 「音声」と同じ働きをします。

■ ◆キー設定

メニュー画面が表示されていないときのリモコンの▲▼ボタンの機能を設定します。

標準 : メニュー画面が表示されていないとき、▲▼ボタンを無効に設定します。

音量 : メニュー画面が表示されていないとき、▲▼ボタンで音量が調整できます。

■ オートパワーオフ

設定時間までに信号が入力されない場合、自動的に本機をスタンバイ状態にすることができます。

オフ : 標準の設定です。この機能をオフにします。

15分～60分 : 15分～60分まで5分間隔で設定できます。

- お知らせ**
- フリーズ機能使用時はオートパワーオフ機能は働きません。

■ パスワード

サービス担当者が使用します。

リモコンの数字ボタン(0～9)で入力し、エンター(ENTER)ボタンで確定します。

テストパターンの表示

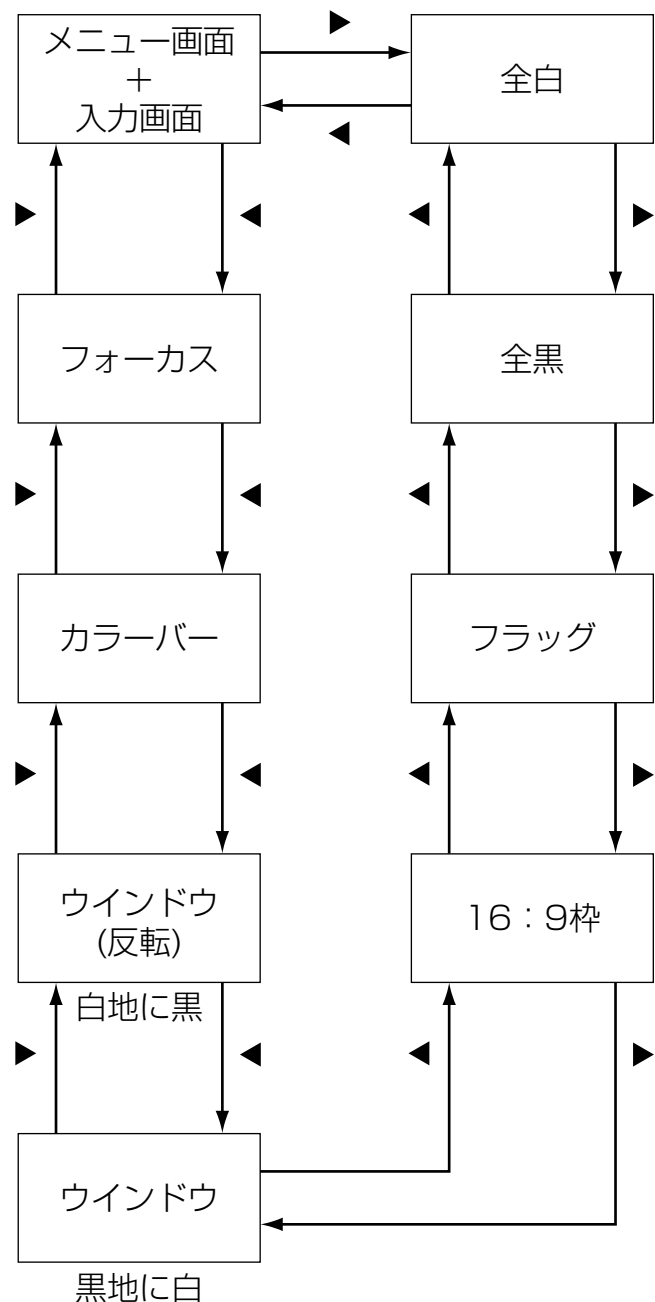
本機の状態を確認するためのテストパターンを8種類内蔵しています。

テストパターンを表示させる場合は次の手順で操作してください。

- お知らせ** • 位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

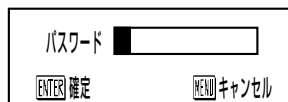
◀ ▶ ボタン：各種テストパターンを切り換えます。

■ 内蔵テストパターンの表示チャート



セキュリティの設定

本機のセキュリティ機能としてパスワード入力画面を表示させたり、投写している映像の下に会社のURL等を設定して表示させることができます。



(はじめてご使用になる場合)

▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを順に押し、エンター(ENTER)ボタンを押してください。

(以前にパスワードを変更された場合)

変更したパスワードを入力し、エンター(ENTER)ボタンを押してください。

■ パスワード設定

電源を入れたときにパスワード入力画面を表示させることができます。正しくパスワードを入力しない限り、電源(POWER)ボタン以外の操作ができなくなります。

オン：パスワード入力を有効にします。

オフ：パスワード入力を無効にします。

■ パスワード変更

パスワードを変更することができます。エンター(ENTER)ボタンを押してください。

- ① ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンでパスワードを設定する。
(最大8つのボタンを設定できます。)
- ② エンター(ENTER)ボタンを押す。
- ③ 確認のため、再度パスワードを入力する。
- ④ エンター(ENTER)ボタンを押す。
(設定終了)

- お知らせ** • パスワードを入力しても画面上では、*印で表示されます。
• パスワードを間違えると画面上の「パスワード」や「新規」などの文字が赤色になります。再度パスワードを入力してください。

■ テキスト設定

投写中の映像の下に設定した文字を常時表示させることができます。

オン：テキスト表示を有効にします。

オフ：テキスト表示を無効にします。

■ テキスト変更

テキスト設定を「オン」にしたときに表示される文字を変更することができます。

エンター(ENTER)ボタンを押してください。

- ① ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで文字を選び、エンター(ENTER)ボタンを押す。(22文字まで続けて入力することができます。)
- ② ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで「OK」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押す。
• 中止したい場合は「Cancel」を選んでください。

ネットワークの設定

パソコンで本機を制御するWEBブラウザ（47ページ）機能を使うために、ネットワークに必要な設定をしておく必要があります。

ネットワーク	
ホストネーム	
DHCP	← オフ →
IPアドレス	
ネットマスク	
ゲートウェイ	
MACアドレス	
保存	
↑ 選択 ENTER 実行 MENU 戻る	

- ホストネーム : DHCPサーバーを利用する場合などに必要があれば変更してください。
- DHCP : DHCPサーバーを利用し自動的にIPアドレスを取得する場合はDHCP項目をオンにします。DHCPサーバーを利用しない場合はオフにします。
- IPアドレス : DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。
- ネットマスク : DHCPサーバーを利用しない場合はネットマスクを入力します。
- ゲートウェイ : DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。
- MACアドレス : ネットワーク機器が持つ固有のマックアドレス(Media Access Control Address)を表示します。DHCPサーバーを利用するときなどに必要な場合があります。
- 保存 : 設定した内容を保存します。

- お願い**
- DHCPサーバーを利用する場合、DHCPサーバーが立ち上がっていることを確認ください。
 - IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンの接続

■ 必要なシステム構成

ネットワーク機能を使用するには下記の条件を満たすシステムが必要です。

● パソコン

- OS : Windows XP/2000/Me (Millennium Edition) / 98SE (Second Edition)
- CPU : Pentium III以上のプロセッサ一搭載
- メモリー : 64 MB以上 (Windows XP/2000の場合は、128 MB以上)
- WEBブラウザ : Internet Explorer 6.0以上
Netscape Communicator 7.0以上

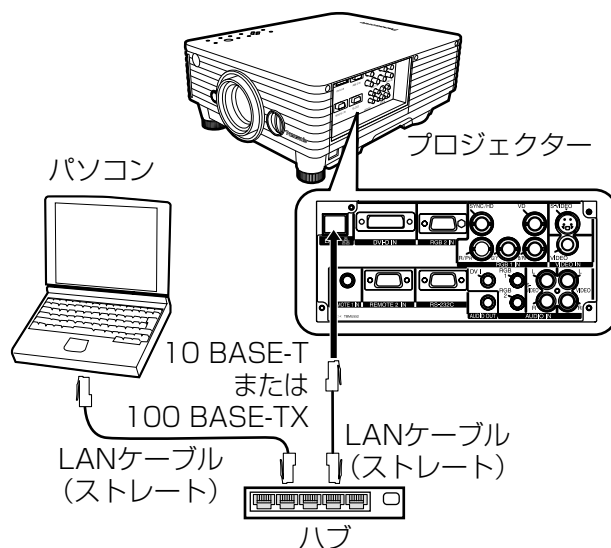
● LANケーブル

- タイプ : ストレート結線でカテゴリ5対応のもの
- 長さ : 100 m以下

- お願い**
- Eメール機能を使用する場合は、Eメールが使用できることを確認しておいてください。

上記の条件を満たす、すべてのシステムについて動作を保証するものではありません。

■ 接続例

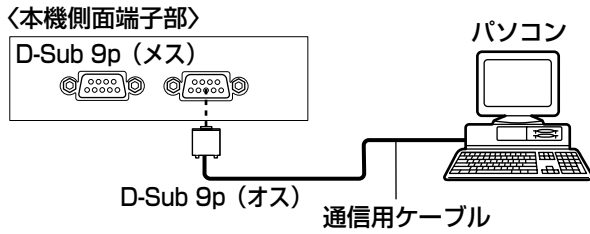


- お願い**
- 静電気を帯びた手（体）でLAN端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN端子及びLANケーブルの金属部に触れないようにしてください。

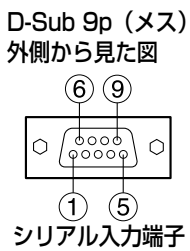
シリアル端子を使う

本体側面端子部のシリアル(SERIAL)端子はRS232C準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

■ 接続例



■ ピン配列と信号名



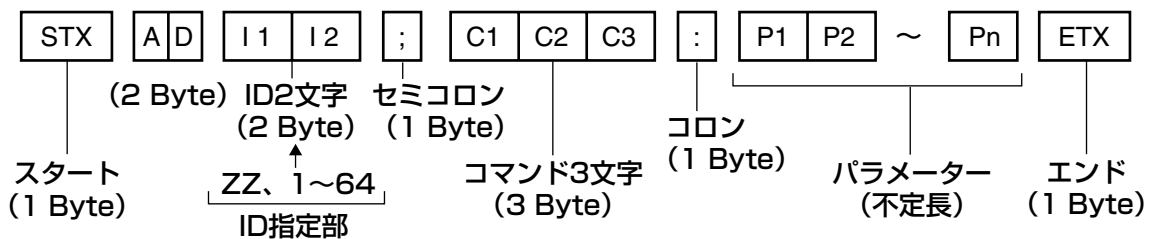
ピンNo.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		内部で接続されています
⑤	GND	グラウンド
⑥		NC
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	内部で接続されています
⑨		NC

■ 通信条件 (工場出荷設定)

信号レベル	RS232C準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

■ 基本フォーマット

パソコンからの伝送はSTXで開始され、続いてID、コマンド、パラメーター、最後にETXの順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



- お願い**
- ランプ点灯開始時、約10~60秒間はコマンドを送受信できませんので、10~60秒経過後に送受信してください。
 - 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン(:)は必要ありません。

- お知らせ**
- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
 - RS232CでのID送信はZZ(オール)と1から64の対応になっています。
 - ID指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみパソコンへの応答を返します。
本機IDと一致した場合
ID指定がオールの場合

応用

■ 制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。
POF	電源「切」	
IIS	入力切り換え	パラメーター VID=VIDEO SVD=S-VIDEO RG1=RGB1 RG2=RGB2 DVI=DVI
OSH	シャッター機能	パラメーター 0=オフ、1=オン
AVL	音量	パラメーター 0~63
OLP	ランプパワー設定	パラメーター 0=高、1=低

お知らせ • 詳しいコマンドリストが必要な場合は、販売店にご相談ください。

■ ケーブル仕様

《パソコンと接続する場合》

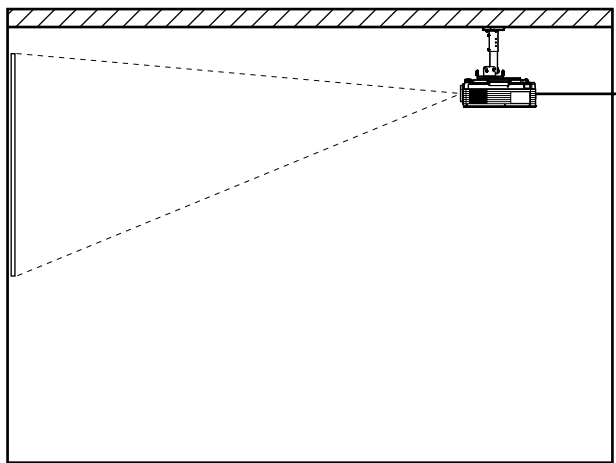
本機側		パソコン側 (DTE仕様)	
1	NC	NC	1
2			2
3			3
4	NC	NC	4
5			5
6	NC	NC	6
7			7
8			8
9	NC	NC	9

お願い • シリアル(SERIAL)端子とパソコンをつなぐ通信用ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

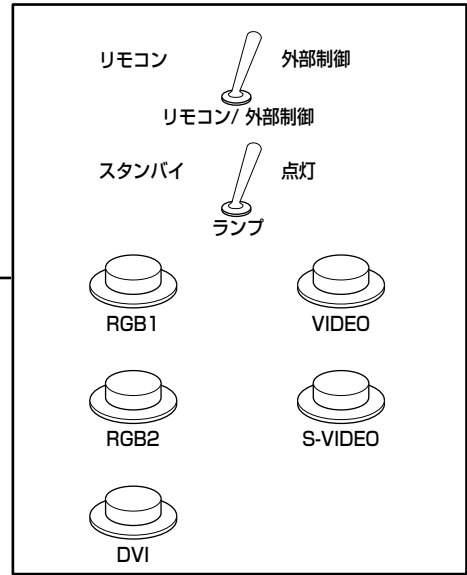
リモート2端子を使う

本体側面端子部のリモート2(REMOTE 2)端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。

設置例



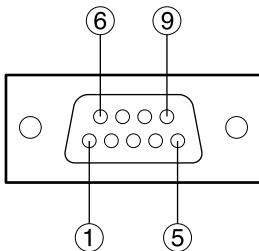
会議室などの設置場所



別の場所にある遠隔制御盤

ピン配列と制御内容について

制御を行う場合は必ず、①番ピンと⑨番ピンは短絡させてください。



D-Sub 9p (メス)
外側から見た図

	端子名称	オープン(H)	ショート(L)
①	GND	—————	GND
②	POWER	OFF	ON
③	RGB1	その他	RGB1
④	RGB2	その他	RGB2
⑤	VIDEO	その他	VIDEO
⑥	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
⑦	DVI	その他	DVI
⑧	SHUTTER	OFF	ON
⑨	RST / SET	リモコン制御	外部接点制御

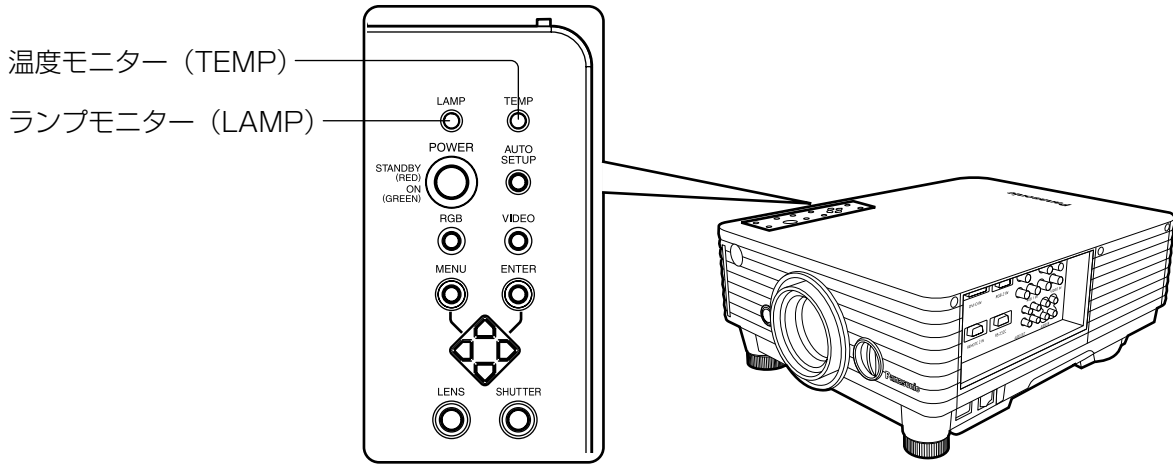
お知らせ

- ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
電源(POWER)ボタン
SHUTTERボタン
また、これらの機能に相当するRS232C用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。
- ①番、⑨番ピンを短絡させて、さらに③～⑦番ピンのいずれかと①番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの以下のボタンが使用できなくなります。
POWER
RGB(リモコンの場合はRGB1、RGB2、DVIボタン)
VIDEO(リモコンの場合はVIDEO、S-VIDEOボタン)
SHUTTER
また、これらの機能に相当するRS-232C用コマンドやネットワーク機能も使用できなくなります。

応
用

モニター部の表示について

本体前面上部には、ランプの交換時期、内部温度の異常を知らせる2つのモニターがついています。これらのモニターは異常等を点滅や点灯で表示します。電源を切り下記の処置をしてください。



モニター名	モニター表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
温度モニター TEMP ◎	赤色点灯	ウォームアップ状態	<ul style="list-style-type: none"> 気温が低い(0℃付近)状態で電源を「入」にしませんでしたか 	<ul style="list-style-type: none"> このままの状態です5分ほどお待ちください。 周囲温度0℃～40℃の場所に設置してください。
		内部が高温になっている(警告)	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔がふさがれていませんか 気温の高い所で使用していませんか エアフィルターがめづまりしていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 周囲温度0℃～40℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。 23ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアフィルターの掃除を行ってください。(43ページ)
	赤色点滅(2回)	内部が高温になっている(スタンバイ状態)	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔がふさがれていませんか 気温の高い所で使用していませんか エアフィルターがめづまりしていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 23ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアフィルターの掃除を行ってください。(43ページ)
ランプモニター LAMP ◎	赤色点滅(3回)	ファンが止まっている	—	<ul style="list-style-type: none"> 23ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。
	赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れたときに「ランプ交換」という表示が出ませんでしたか 	<ul style="list-style-type: none"> ランプユニットの使用時間が1300時間(ロングライフランプユニット使用時は、3800時間)に達すると点灯します。ランプユニットの交換を販売店にご依頼ください。
赤色点滅(3回)		ランプ回路の異常を検知している	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか ランプ回路に異常が発生しています 電源電圧が変動(低下)していませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 23ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。

- お願い**
- 温度モニター (TEMP)、ランプモニター (LAMP) の表示により処置を行うときの電源操作は22、23ページの手順を必ずお守りください。
 - 電源モニターが赤色点滅 (3回) した場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。

エアークフィルターの清掃と交換

エアークフィルターにほこりがたまり過ぎると、本体内部温度が高温になり、温度モニター(TEMP)が点滅し、電源が切れます。

使用場所により異なりますが、エアークフィルター部の清掃は約100時間を目安に行ってください。

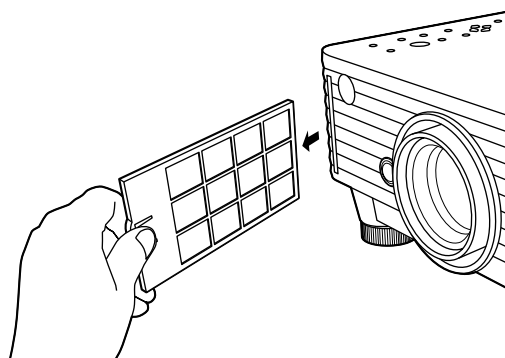
■ 清掃手順

① 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。

23ページの「電源の切りかた」の手順を守り、主電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

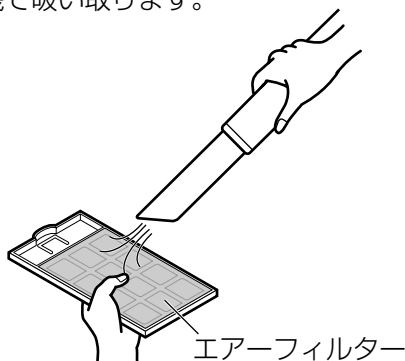
② エアークフィルターを外す。

エアークフィルターのツメを指で引っ張りながら本体から外します。



③ エアークフィルターを掃除する。

たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



お願い • エアークフィルターを吸い込まないようにしてください。

④ エアークフィルターを取り付ける。

②と逆の方法でエアークフィルターを取り付けます。

お願い • フィルター素材 (スポンジのような部分) が正面に向かって左側になるように入れてください。
• エアークフィルターは必ず取り付けてご使用ください。
エアークフィルターを取り付けずに使用すると、ゴミやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

お知らせ • 掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアークフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアークフィルターも交換してください。



ランプユニットの交換は、サービス技術者にご依頼ください



ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1時間以上待ってから）行ってください

ランプユニット交換上のお願

主電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認してください

- 光源ランプは内部気圧が高く、堅い物に当たったり、落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱くと破裂する場合があります。処分は産業廃棄物処理業者にご依頼ください。
- 新しいランプユニットに交換した場合以外は、積算時間をリセットしないでください。
- 交換時期を超えたランプを使用し続けると、ランプが破裂する場合があります。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。

お願い

- ランプユニットは別売部品です。販売店にご相談ください。（サービス部品扱い）

交換用ランプユニット品番：ET-LAD35（1灯）

定格 300 W

ロングライフランプユニット品番：ET-LAD35L（1灯）

定格 160 W

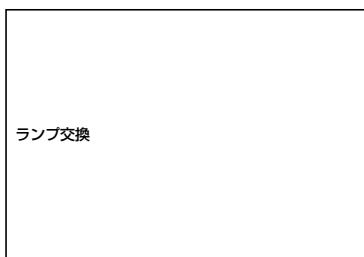
- 上記以外のランプを使用することはできません。必ず指定のランプを使用してください。

■ ランプユニットの交換時期

光源として使用しているランプには、寿命があります。本体に使用している光源ランプの寿命は1 500時間*¹（ランプパワー…「高」設定時）ですが、ランプ個々の特性や使用条件（ランプは点灯回数や再点灯までの間隔等の影響を受け寿命を低下させる恐れがあります）により、1 500時間*¹前に点灯しなくなる場合がありますので、交換用ランプの準備をおすすめします。

1 300時間*²（ランプパワー「高」設定時）を過ぎてもランプユニットが交換されない場合には1 500時間*¹で自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。1 500時間*¹以降は、電源を入れても約10分間で自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。

● 1 300時間*²（ランプパワー「高」設定時）以降の表示



ランプユニットの使用時間が1 300時間*²に達するとランプモニター（LAMP）が、スタンバイ状態も含めて点灯します。

また、左図のようなランプユニットの交換を促すオンスクリーンを約30秒表示します。（左図の表示は約30秒経過または本体天面操作ボタン、リモコンのボタンのいずれかを操作すると消えます。）

このオンスクリーン表示は1 500時間*¹に達すると、以降はメニュー（MENU）ボタンなどを操作しない限り消えません。

*¹ ロングライフランプユニット使用時は、4 000時間になります。

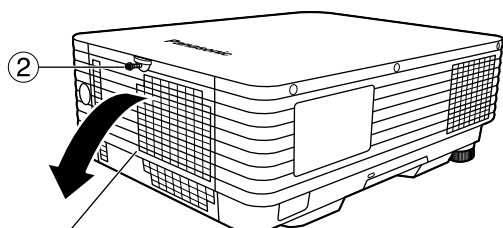
*² ロングライフランプユニット使用時は、3 800時間になります。

■ ランプユニットの交換手順

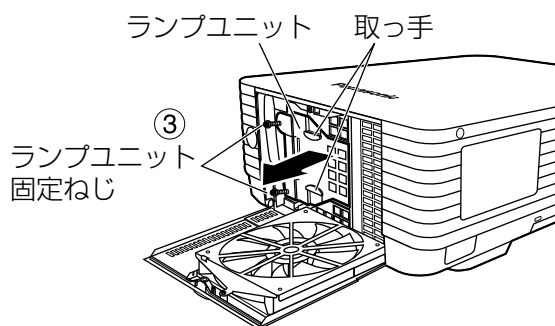
- お願い** ・ランプユニットの交換を1 500時間（ロングライフランプ使用時は、4 000時間）を過ぎてから行った場合は、電源を入れてから約10分間のみ本機を動作させることができます。手順⑧～⑬の操作を10分以内に行ってください。

- ① 23ページの〈電源の切りかた〉の手順を守り、主電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット周辺が冷えていることを確認する。

ファンの回転が停止していることを確認してください。



ランプユニット収納扉

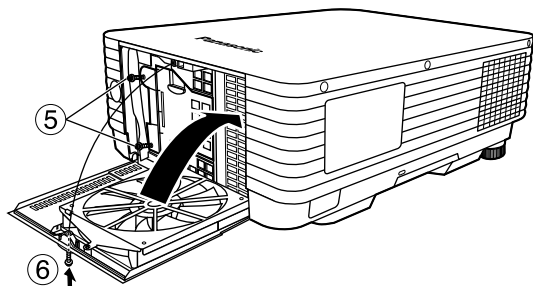


ランプユニット固定ねじ

⚠ 注意



使用直後のランプユニットは高温なので注意する
触るとやけどの原因になります。



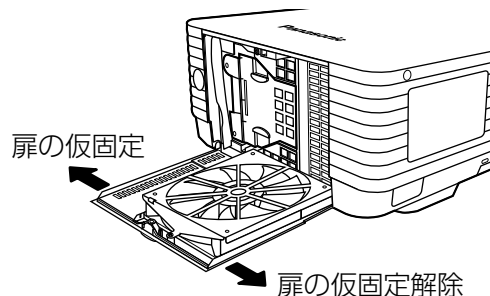
5

6

あらかじめプラスドライバーを用意してください。

- ② ランプユニット収納扉固定ねじ（1本）をゆるめ、ランプユニット収納扉を開ける。

- お知らせ** ・ランプユニット収納扉を開けた状態で扉を矢印の方向にスライドさせることにより、扉を仮固定／仮固定解除ができます。



- ③ ランプユニット固定ねじ（2本）をゆるめ、取っ手をつまんでランプユニットを取り出す。

- ④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む。

ランプユニットの左右を均等に押し込んで挿入してください。

- ⑤ ランプユニット固定ねじ（2本）をプラスドライバーでしっかりととめる。

- ⑥ 右上の角をパチンと音がするまで押し込んでランプユニット収納扉を閉め、ランプユニット収納扉固定ねじ（1本）をしっかりとめる。

- お願い** ・ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプ収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。

- ⑦ 電源プラグをコンセントに差し込み、主電源(MAIN POWER)スイッチを入れる。

お願い • 主電源 (MAIN POWER) スイッチを「|」側にしても電源が入らない場合は、一度、主電源 (MAIN POWER) スイッチを「○」側にし、ランプユニットや収納扉の取り付けを確認後、再度「|」側にしてください。

- ⑧ POWERボタン (リモコンの場合は電源入「|」ボタン) を押し、映像投写を開始する。

メインメニュー	
映像	
ポジション	
アドバンスドメニュー	
音声	
言語 [LANGUAGE]	
オプション1	
オプション2	

- ⑨ メニュー(MENU)ボタンを押し、「メインメニュー」画面を表示させ ▲ ▼ ボタンで「オプション2」の項へ移動する。

システム情報	
ROMバージョン	1.00.00
セット使用時間	300h
ランプ 低	100h
高	200h
合計	300h

- ⑩ エンター(ENTER)ボタンを押して「オプション2」画面を表示させ、 ▲ ▼ ボタンで「システム情報」を選択する

- ⑪ エンター(ENTER)ボタンを押す
「システム情報」画面を表示します。

ランプタイムリセット	
LAD35	1433h
LAD35L	0h

- ⑫ 本体またはリモコンのエンター(ENTER)ボタンを約3秒間押し続ける
「ランプタイムリセット」画面を表示します。

- ⑬ エンター(ENTER)ボタンを押し「ランプタイムリセット」の表示が点滅したら再度エンター(ENTER)ボタンを押す
ランプユニットの積算時間が0にリセットされます。

お知らせ • 「ランプタイムリセット」の表示が点滅しているときに、メニュー (MENU) ボタンを押すと、ランプタイムリセットをキャンセルすることができます。

Webブラウザコントロールを使用する

本機はネットワーク機能を備えており、Webブラウザコントロールを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時のEメールメッセージの送信

■ Webブラウザからのアクセスのしかた

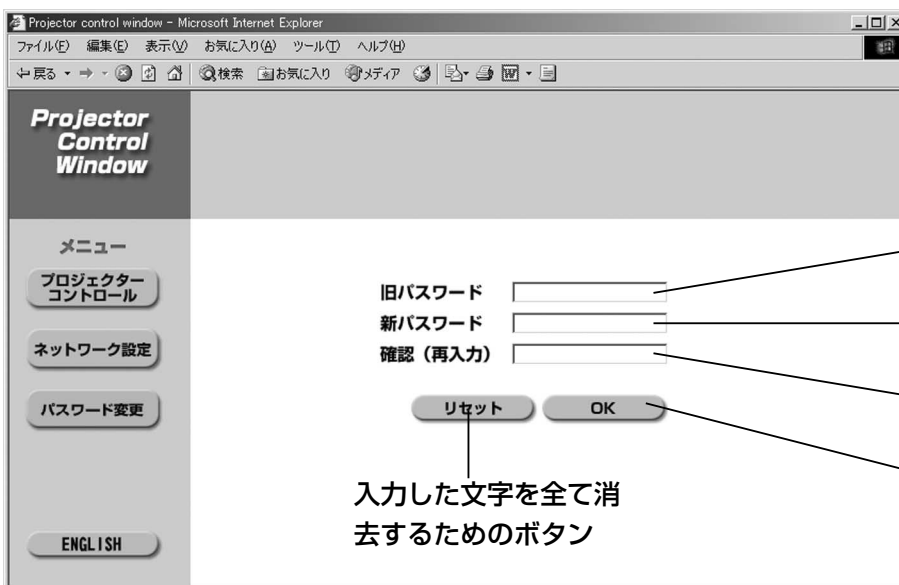


- ① パソコンのWebブラウザを起動し、本機で設定したIPアドレスを入力する
- ② ユーザー名欄に“user1”を入力し、パスワード欄にパスワードを入力する
パスワードの初期設定は、“panasonic (小文字)”です。変更したときは、変更後のパスワードを入力してください。
“領域”には本機で設定したホスト名が表示されます。
- ③ [OK] をクリックする
基本制御ページが表示されます。

- お知らせ**
- Webブラウザを同時に複数立ち上げて、設定や制御を行うのは避けてください。
 - まず最初にパスワードの変更を行ってください。

■ パスワード変更ページ

[パスワード変更] をクリックします。



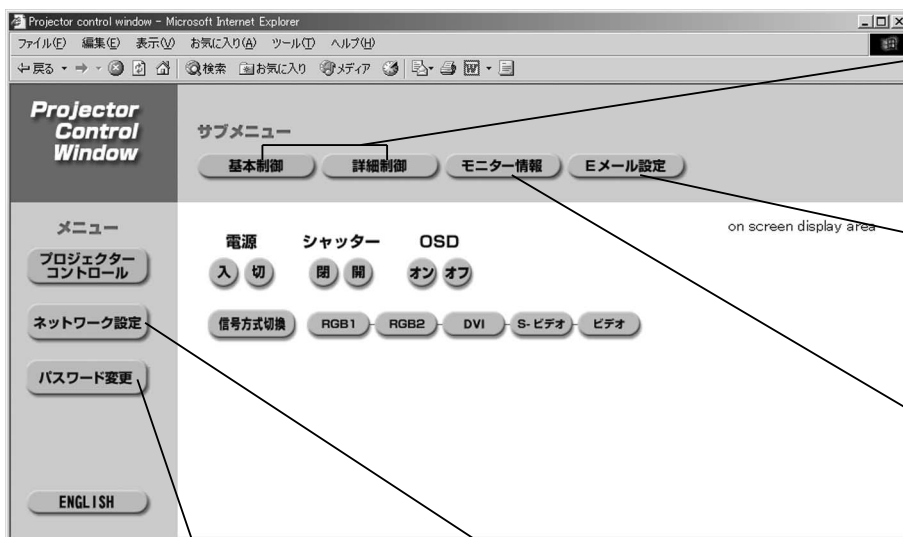
- 旧パスワード入力欄
- 新パスワード入力欄
- 新パスワード (確認) 入力欄
- パスワード変更の実行ボタン

その他

■ 基本制御ページ

Webブラウザからアクセスしたときの最初のページです。

他のページから移行するときは、[プロジェクターコントロール] → [基本制御] をクリックします。



コントロールボタン

この項目をクリックすると、プロジェクターの制御ページが表示されます。

E-メール設定ボタン

この項目をクリックすると、E-メール設定ページが表示されます。

モニター情報ボタン

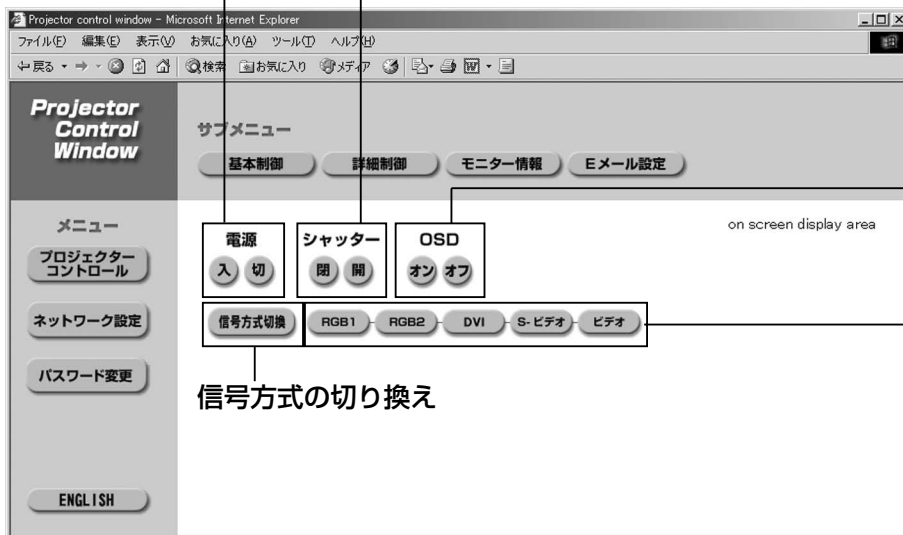
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

パスワード変更ボタン

ネットワーク設定ボタン

この項目をクリックすると、IPアドレスなどのネットワーク設定ページが表示されます。

電源のON/OFF操作 シャッターの操作



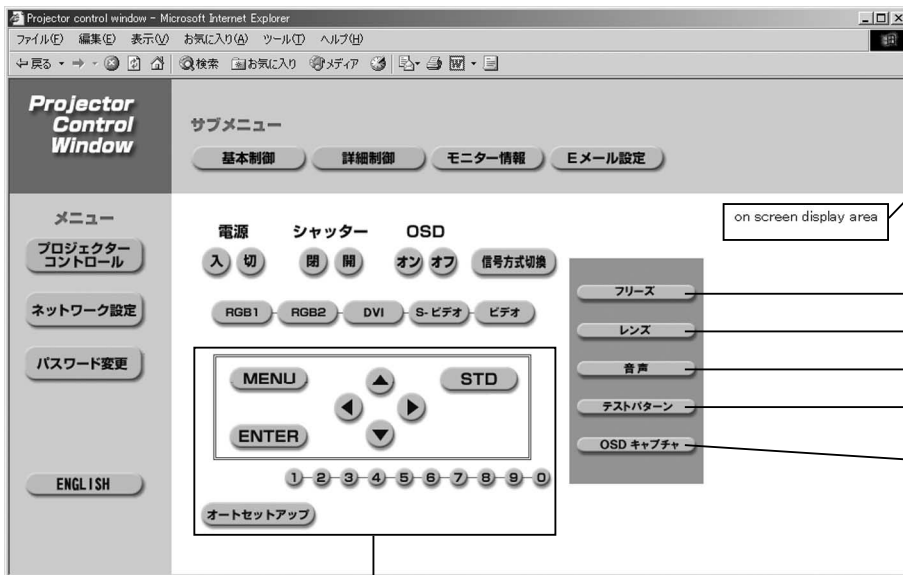
オンスクリーン表示 (OSD) の表示/非表示の切り換え

入力切り換え

信号方式の切り換え

■ 詳細制御ページ

[プロジェクターコントロール] → [詳細制御] をクリックします。



オンスクリーン状態を表示します。プロジェクターのオンスクリーンがオフに設定されていても表示します。

映像の一時停止

レンズの調整

音声メニューの表示

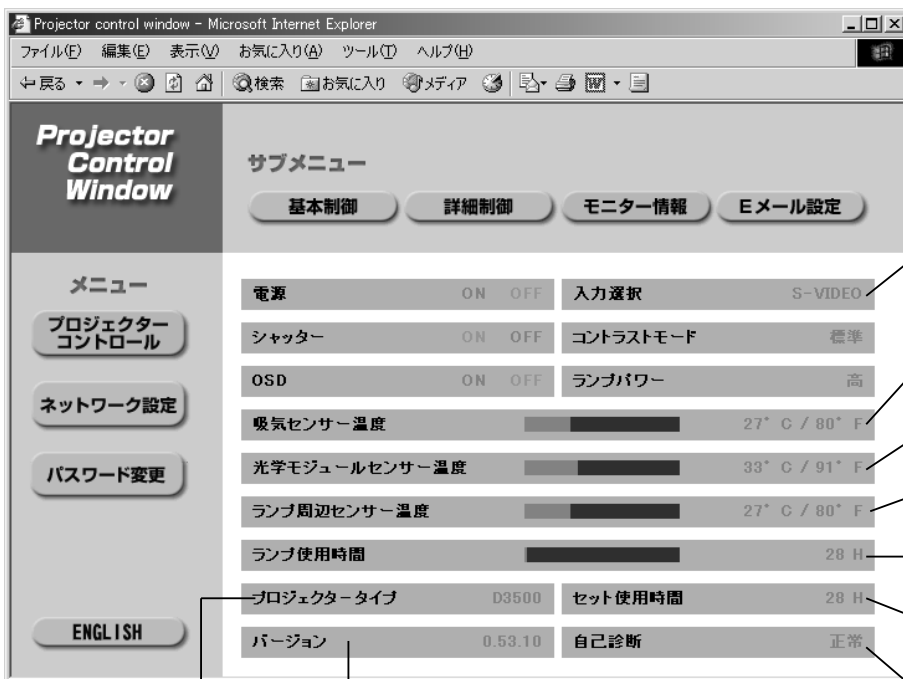
テストパターンの表示

制御ページ右側のオンスクリーンを最新の状態に更新します。

リモコンのボタンと同じように各ボタンを押すことによりプロジェクターを制御します。制御後に制御ページ右側のオンスクリーンを更新します。

■ モニター情報ページ

[プロジェクターコントロール] → [モニター情報] をクリックします。
以下の項目における本機の状態を表示します。



入力切り換えの状態を表示します。

プロジェクターの吸気温度状態を表示します。

プロジェクターの庫内温度状態を表示します。

ランプ周辺の温度状態を表示します。

ランプの点灯時間を表示します。

プロジェクターの稼働時間を表示します。

自己診断情報を表示します。

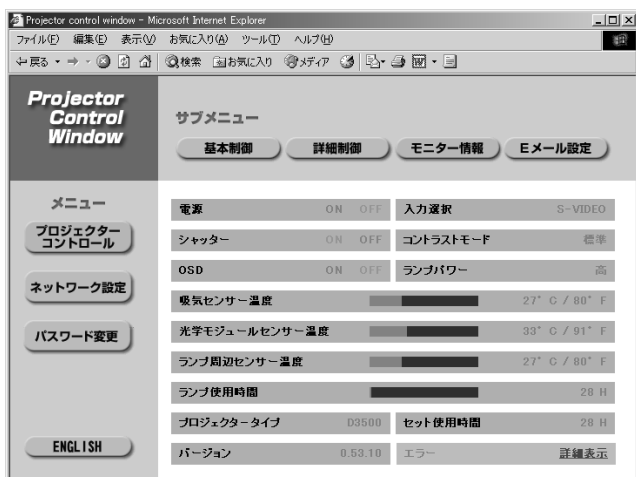
プロジェクターの種類を表示します。

プロジェクター本体のファームウェアバージョンを表示します。

その他

■ エラー情報ページ

モニター情報画面で **エラー** **詳細表示** が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー内容が表示されます。



OK : 正常動作
 FAILED : 異常発生

お知らせ • エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。

[FAILED] と表示されたとき :

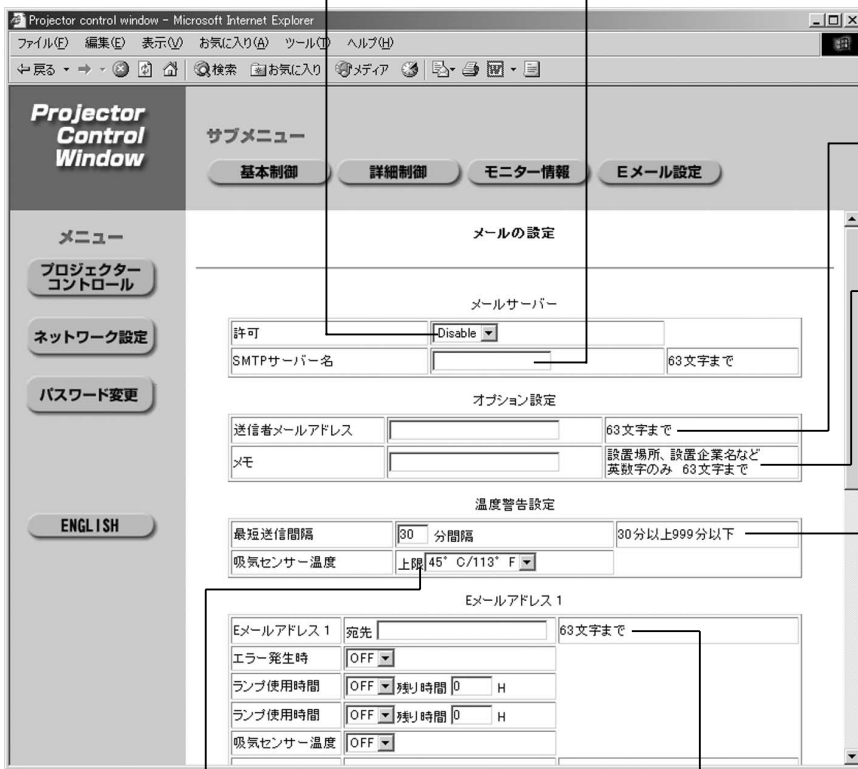
項目	説明
MAIN CPU BUS	マイコン回路に異常があります。販売店にご相談ください。
FAN	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
OPTICS MODULE TEMPERATURE	本機内部の温度が高くなっています。 暖房機器の近くなど、周囲温度の高い環境で使用している可能性があります。
INPUT AIR TEMPERATURE	吸気温度が高くなっています。 暖房機器の近くなど、周囲温度の高い環境で使用している可能性があります。
AROUND LAMP TEMPERATURE	ランプ周辺の温度が高くなっています。 排気孔がふさがれている可能性があります。
LAMP REMAIN TIME	ランプ使用時間が所定の積算時間を越えており、ランプを交換する時期になっています。
LAMP STATUS	ランプ点灯に失敗しています。 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
SHUTTER	シャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR	本機内部の温度感知センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
INPUT AIR TEMP.SENSOR	吸気温度感知用センサーに異常があります。販売店にご相談ください。
BATTERY	電池交換が必要です。販売店にご相談ください。
COLOR WHEEL	カラーホイールやカラーホイール駆動回路に異常があります。 販売店にご相談ください。

■ Eメール設定ページ

異常時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいたEメールアドレス（最大2箇所）にメールを送信することができます。

[プロジェクターコントロール] → [Eメール設定] をクリックします。

E-メール機能を使用する場合 E-メールサーバー（SMTP）のIPアドレスかサーバー名を入力してください。はEnableを選択してください。サーバー名を入力する場合はDNSサーバーの設定が必要です。



プロジェクターのE-メールアドレスを入力してください。（半角で63文字まで）

E-メールの発信元がわかりやすいようにプロジェクターの設置場所などを入力することができます。（半角で63文字まで）

温度警告メールの最少時間間隔を変更できます。初期値は60分です。この場合、温度警告メールを送信後60分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。

温度警告メール用の設定温度を変更できます。

この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

送信する宛先のE-メールアドレスを入力してください。



E-メールを送信する条件を選択します。

エラー発生時：
自己診断でエラーが発生した場合

ランプ使用時間：
ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度
吸気温度が上欄に設定された値になった場合

E-メールを定期的送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。

その他

(次ページへつづく)

■ Eメール設定ページ (つづき)

2つのE-メールアドレスを使う場合に、送信する宛先のE-メールアドレスを入力します。2つのE-メールアドレスを使わない場合は未記入にします。

2つ目のE-メールアドレスにE-メールを定期的に送信する場合はチェックします。チェックのついている曜日・時間にメールを送信します。

全ての入力を終わったら、Submitボタンを押します。

2つ目のE-メールアドレスにE-メールを送信する条件を選択します。

- エラー発生時：** 自己診断でエラーが発生した場合
- ランプ使用時間：** ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合
- 吸気センサー温度：** 吸気温度が上欄に設定された値になった場合

■ DNSサーバー設定ページ

[ネットワーク設定] → [DNSサーバー設定] をクリックします。

DNSサーバーアドレス (プライマリー) の入力

使用可能文字：
数字 (0-9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.253)。

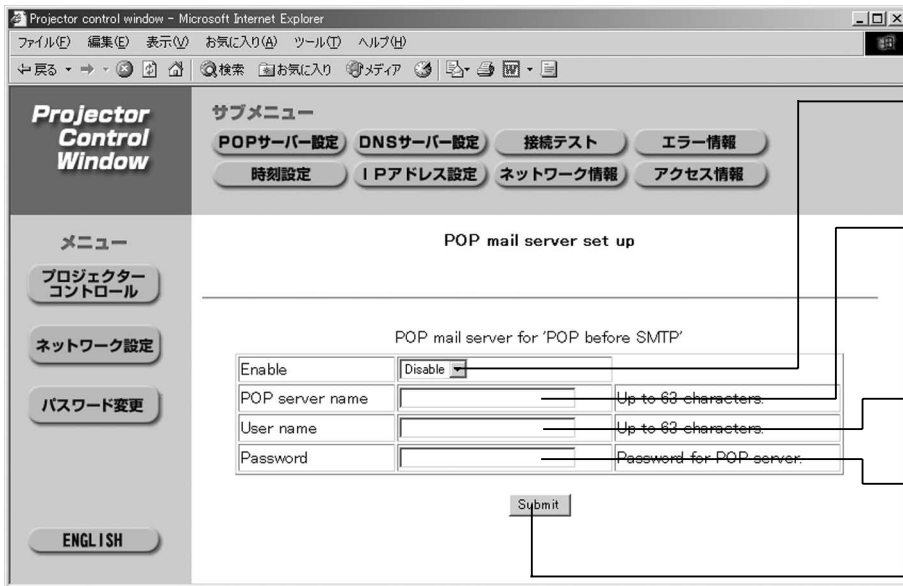
DNSサーバーアドレス (セカンダリー) の入力

使用可能文字：
数字 (0-9)、ピリオド (.)
(例：192.168.0.254)。

設定の更新ボタン

POPサーバー設定ページ

メール送信にPOP認証が必要な場合はPOPサーバーを設定します。
 [ネットワーク設定] → [POPサーバー設定] をクリックします。



メール送信に認証が必要な場合のみ、この設定をEnableにしてください。

POPサーバー名の入力
 使用可能文字：
 英数字 (A-Z, a-z, 0-9)
 マイナス記号 (-) ピリオド (.)

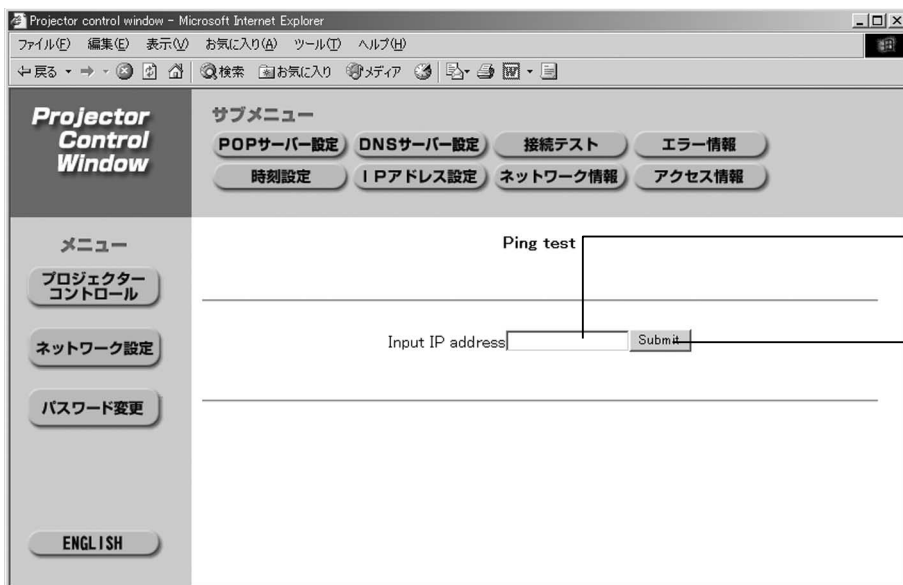
POPサーバーの
 ユーザー名の入力

POPサーバーの
 パスワードの入力

設定の更新ボタン

接続テストページ

メールサーバー、POPサーバー、DNSサーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。
 [ネットワーク設定] → [接続テスト] をクリックします。



テストするサーバーの
 IPアドレスの入力

テストの実行ボタン

```
PING 192.168.0.122 (192.168.0.122): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.0.122: icmp_seq=0 ttl=128 time=0.6 ms
64 bytes from 192.168.0.122: icmp_seq=1 ttl=128 time=3.1 ms
64 bytes from 192.168.0.122: icmp_seq=2 ttl=128 time=4.5 ms
64 bytes from 192.168.0.122: icmp_seq=3 ttl=128 time=5.8 ms
```

接続できた場合の表示

```
PING 192.168.0.122 (192.168.0.122): 56 data bytes
--- 192.168.0.122 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.6/3.5/5.8 ms
```

接続できなかった場合の表示

その他

■ 送信するメール内容

- E-メール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

```
Subject: Panasonic projector report(CONFIGURE)
==== Panasonic projector report(CONFIGURE) ====
Projector Type      : D3500

----- E-mail setup data -----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME      at [ 60] minutes interval
INPUT AIR TEMPERATURE Over [ 45C / 113F ]

ERROR             [ ON ]
LAMP RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [  0] H
LAMP RUNTIME      [ OFF ] at REMAIN [  0] H
INPUT AIR TEMPERATURE [ OFF ]

PERIODIC REPORT
Sunday [ OFF ] Monday [ OFF ] Tuesday [ OFF ] Wednesday [ OFF ]
Thursday [ OFF ] Friday [ OFF ] Saturday [ OFF ]

00:00 [ OFF ] 01:00 [ OFF ] 02:00 [ OFF ] 03:00 [ OFF ]
04:00 [ OFF ] 05:00 [ OFF ] 06:00 [ OFF ] 07:00 [ OFF ]
08:00 [ OFF ] 09:00 [ OFF ] 10:00 [ OFF ] 11:00 [ OFF ]
12:00 [ OFF ] 13:00 [ OFF ] 14:00 [ OFF ] 15:00 [ OFF ]
16:00 [ OFF ] 17:00 [ OFF ] 18:00 [ OFF ] 19:00 [ OFF ]
20:00 [ OFF ] 21:00 [ OFF ] 22:00 [ OFF ] 23:00 [ OFF ]

----- check system -----
MAIN CPU BUS           [ OK ]
FAN                   [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]
LAMP REMAIN TIME      [ OK ]
.
.
.
```

- エラーになったときはこのようなメールを発信します。

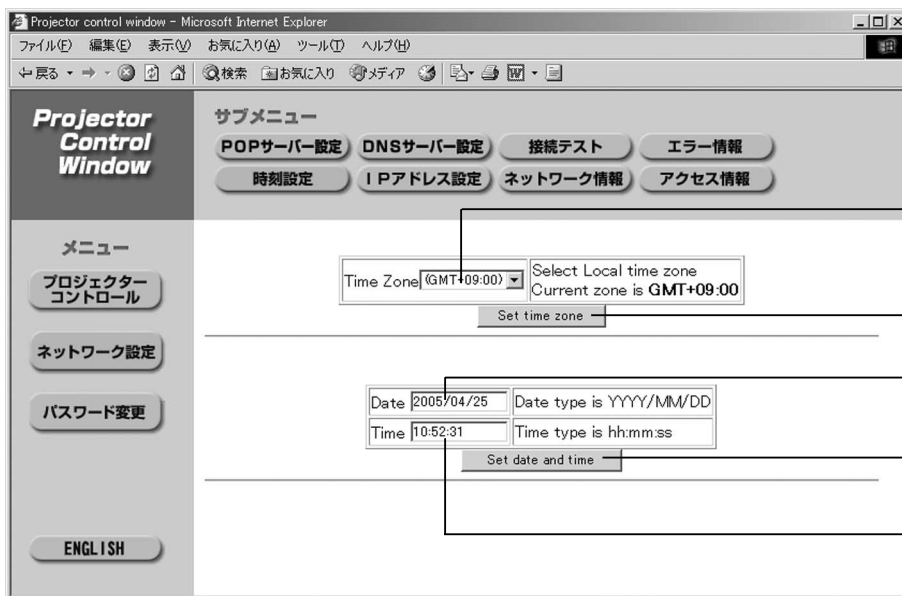
```
Subject: Panasonic projector report(ERROR)
==== Panasonic projector report(ERROR) ====
Projector Type      : D3500

----- check system -----
MAIN CPU BUS           [ OK ]
FAN                   [ OK ]
OPTICS MODULE TEMPERATURE [ OK ]
INPUT AIR TEMPERATURE [ OK ]
AROUND LAMP TEMPERATURE [ OK ]
LAMP REMAIN TIME      [ OK ]
LAMP STATUS           [ FAILED ]
SHUTTER               [ OK ]
OPTICS MODULE TEMP.SENSOR [ OK ]
INPUT AIR TEMP.SENSOR [ OK ]
AROUND LAMP TEMP.SENSOR [ OK ]
BATTERY               [ OK ]
COLOR WHEEL           [ OK ]
(Error code 00 40 00 00 00 00 00)
Input air temperature : 27 degC / 80 degF
Optics module temperature : 65 degC / 149 degF
Around lamp temperature : 27 degC / 80 degF
SET RUNTIME           1857 H
POWER ON              248 times
LAMP ON               177 times
LAMP LOW              0 H
LAMP HIGH             68 H
LAMP REMAIN           1432 H

----- Network configuration -----
IP address 192.168.0.8
MAC address 00:00:00:00:00:00
Wed Jan 26 18:54:31 2005
----- Memo -----
```

■ 時刻設定ページ

[ネットワーク設定] → [時刻設定] をクリックします。



- タイムゾーンを選択（日本は GMT+09:00）
- タイムゾーンの設定更新ボタン
- 変更する日にちの入力
- 日時設定の更新ボタン
- 変更する時間の入力

お知らせ ・時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

■ IPアドレス設定ページ

DHCPクライアント機能を有効にする場合はONにします。

DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。

DHCPサーバーを利用しない場合はネットマスクを入力します。

DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

プロジェクターの名前を入力します。DHCPサーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。

■ ネットワーク情報ページ

[ネットワーク設定] → [ネットワーク情報] をクリックします。

ネットワークソフトのバージョン表示

設定したIPアドレスの表示

設定したサブネットマスクの表示

MACアドレスの表示

ネットワークの状態表示

その他

PJLink™ プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能はPJLink™※クラス 1 に対応しており、PJLink™プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- プロジェクターの設定
- プロジェクターの状態問い合わせ

■ 対応コマンド

PJLink™プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容	備考
POWR	電源制御	パラメーター 0=スタンバイ 1=電源「入」
POWR?	電源状態問合せ	パラメーター 0=スタンバイ 1=電源「入」 2=クーリング中 3=ウォームアップ中
INPT	入力切り換え	パラメーター 11=RGB1 12=RGB2 21=VIDEO
INPT?	入力切り換え問合せ	22=S-VIDEO 31=DVI
AVMT	シャッター制御	パラメーター 10=映像のみミュート解除 11=映像のみミュート 20=音声のみミュート解除 21=音声のみミュート
AVMT?	シャッター状態問合せ	30=シャッターモード オフ (映像と音声のミュート解除) 31=シャッターモード オン (映像と音声のミュート)
ERST?	エラー状態問合せ	パラメーター 1バイト目: ファンエラーを意味し、0~2のいずれか 2バイト目: ランプエラーを意味し、0~2のいずれか 3バイト目: 温度エラーを意味し、0~2のいずれか 4バイト目: 0固定 5バイト目: 0固定 6バイト目: その他のエラーを意味し、0~2のいずれか 0~2の各意味は以下の通り 0=エラーを検知していない 1=警告 2=エラー
LAMP?	ランプ状態問合せ	パラメーター 1つ目の数字 (1~5桁) : ランプ積算時間 2つ目の数字 : 0=ランプ消灯、1=ランプ点灯
INST?	入力切り換え一覧問合せ	パラメーターは下記の値を応答します "11 12 21 22 31"
NAME?	プロジェクター名問合せ	「ネットワーク」の「ホストネーム」で設定した名称を応答します
INF1?	メーカー名問合せ	"Panasonic"と応答します
INF2?	機種名問合せ	"D3500"と応答します
INFO?	その他情報問合せ	バージョン番号などを応答します
CLSS?	クラス情報問合せ	"1"と応答します

■ PJLink™セキュリティ認証

PJLink™で使用するパスワードはWebブラウザコントロールで設定したパスワードと同じです。PJLink™を認証なしで使用する場合は、Webブラウザコントロールのパスワードをなしに設定してください。

※ PJLink™は、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。

PJLink™に関する仕様については(社)ビジネス機械・情報システム産業協会のWEBサイトを参照してください。

URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

修理を依頼される前に・・・もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ・主電源(MAIN POWER)スイッチが「○」側になっていませんか。 ・コンセントに電源がきていますか。 ・本機前面の温度モニター(TEMP)が点灯または点滅していませんか。(42ページ) ・本機前面のランプモニター(LAMP)が点灯または点滅していませんか。(42ページ) ・ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。 ・ID設定の操作を間違えていませんか。(15、35ページ)
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・レンズキャップがかぶさったままではありませんか。 ・映像入力は正しく接続されていますか。 ・入力切り換えの設定が正しくなっていますか。(22ページ) ・黒レベル調整が最小になっていませんか。(29ページ) ・本機に接続している機器は正常に動作していますか。 ・シャッター機能を使用していませんか。(25ページ)
映像がボヤけている	<ul style="list-style-type: none"> ・レンズのフォーカスは合っていますか。(24ページ) ・投写距離は適切ですか。(17ページ) ・レンズが汚れていませんか。 ・本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。(17ページ)
色が薄い／色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。(29ページ) ・本機に接続している機器は正しく調整されていますか。
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> ・乾電池が消耗していませんか。 ・極性は正しくセットされていますか。(14ページ) ・リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。(14ページ) ・リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。(14ページ) ・リモート2(REMOTE2)端子を使って外部制御を行っていませんか。(41ページ) ・外光などの影響を受けていませんか。 ・ID設定の操作を間違えていませんか。(15、35ページ) ・オンスクリーン表示機能が「切」になっていませんか？(9ページ)
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・入力切り換えが正しく行われていますか。(22ページ) ・信号方式(TVシステム)の選択は正しく行われていますか。(30ページ) ・ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。 ・本機が対応できない信号を入力していませんか。(60ページ)
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルが長過ぎませんか。 ・パソコンの映像信号出力先が正しく設定されていますか。(詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください)

その他

仕様

使用電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz	
消費電力	400 W(スタンバイ時 約10 W ただし、ファン停止時)	
DLP™ パネル	パネルサイズ	0.7 型(アスペクト比 4:3)
	表示方式	DMD™素子 1 枚 DLP™方式
	画素数	786 432 画素(1 024×768 ドット)
レンズ	電動ズーム	1~1.32 倍
	電動フォーカスレンズ	F=1.7~2.0 f=25.6 mm~33.8 mm
光源ランプ	300 W UHMランプ×1 灯	
光出力	3 500 lm*1	
対応 走査 周波数	ビデオ信号時 (Sビデオ含む)	水平 15.73 kHz/15.63 kHz 垂直 59.94 Hz/50 Hz
	RGB信号時	水平 15 kHz~91 kHz 垂直 50 Hz~85 Hz PIAS(Panasonic Intelligent Auto Scanning)方式 ドットクロック周波数 108 MHz以下
	DVI-D信号時	HDCP*2対応 EDID1: 480p、576p、720/60p、1080/60i、1080/50i EDID2: VGA480/60、SVGA/60、XGA/60、XGA/70、XGA/85、SXGA/60
	YPbPr信号時	[480i] 水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz [576i] 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz [480p] 水平 31.5 kHz 垂直 59.94 Hz [576p] 水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz [1035/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [720/60p] 水平 45 kHz 垂直 60 Hz [1080/50i] 水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz [1080/60i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz •HD/SYNC、VD端子は、3値SYNCには対応していません。
カラー方式	7 方式(NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)	
投写画面サイズ	50~600 型	
画面アスペクト比	4:3	
投写方式	フロント/リア/天つり/床置き(メニュー設定方式)	
コントラスト比	1 600 : 1 (「コントラストモード」が「高」のとき)	
接続端子	RGB1 入力端子	1系統 BNC×5 [YPbPr入力時] Y : 1.0 V[p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V[p-p] 75 Ω [RGB入力時] 0.7 V[p-p] 75 Ω G-SYNC時 1.0 V[p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 ※ただし、HD/SYNCおよびVD端子は3値SYNCには対応していません。

*1 付属レンズを使用し、「映像モード」が「ダイナミック」に設定している場合で、レンズズームがワイドの値

*2 HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)

HDCPはコンテンツ保護を目的に開発されたデジタル画像信号の暗号方式です。

接 続 端 子	RGB2入力端子	1系統 高密度D-sub 15p(メス) [YPbPr入力時] Y : 1.0 V[p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V[p-p] 75 Ω [RGB入力時] 0.7 V[p-p] 75 Ω G-SYNC時 1.0 V[p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 ※ただし、HD/SYNCおよびVD端子は3値SYNCには対応していません。
	ビデオ入力端子	1系統 RCA 1.0 V[p-p] 75 Ω
	Sビデオ入力端子	1系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V[p-p]、C 0.286 V[p-p] 75 Ω S1信号に対応
	シリアル入力端子	D-sub 9p(メス) RS232C準拠 パソコン制御用
	リモート1入力端子	M3ステレオミニジャック 1系統 ワイヤードリモコン
	リモート2端子	D-sub 9p(メス) 外部制御用
	DVI-D入力端子	DVI-D 24p
	LAN端子	RJ-45 PjLink™対応
	音声入力端子	RGB1/RGB2/DVI入力用 M3ステレオミニジャック (L・R) 各1系統 ビデオ/Sビデオ入力用 RCA (L・R) 各1系統
	音声出力端子	M3ステレオミニジャック (L・R) 1系統
電源コードの長さ	3.0 m	
キャビネット	樹脂成形品	
外形寸法	横幅：332 mm 高さ：168 mm 奥行：425 mm	
質量	7.9 kg	
使用環境条件	使用環境温度*3：0℃～40℃ 使用環境湿度：20%～80%(結露のないこと)	
リ モ コ ン	使用電源	DC 3 V(単4形乾電池 2コ)
	操作距離	約7 m(受光部正面)
	質量	95 g(乾電池含む)
	外形寸法	横幅：45 mm 厚さ：23 mm 奥行：145 mm
別 売 品	天つり金具(高天井用)	: ET-PKD35
	天つり金具(低天井用)	: ET-PKD35S
	投写レンズ	: ET-DLE100、ET-DLE200、ET-DLE300、ET-DLE400、ET-DLE050
	ワイヤレスマウスレシーバー	: ET-RMRC2
	交換用ランプユニット	: ET-LAD35(1灯)
	ロングライフランプユニット	: ET-LAD35L(1灯)

- 外形寸法はレンズなどの突起部を含みません。詳しくは63ページをご覧ください。
- 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This DLP™ based Projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

*3 高地(1 400 m～2 700 m)で使用する場合、使用環境温度の上限は5℃低くなります。

その他

対応信号リスト

表示モード	解像度 (ドット) ※1	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	画質※2	フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720×480i	15.7	59.9		A	Video/S-Video
PAL/PAL-N/SECAM	720×576i	15.6	50.0		A	Video/S-Video
480i	720×480i	15.7	59.9	13.5	A	YPbPr/RGB
576i	720×576i	15.6	50.0	13.5	A	YPbPr/RGB
480p	720×483	31.5	59.9	27.0	A	YPbPr/RGB/DVI
576p	720×576	31.3	50.0	27.0	A	YPbPr/RGB/DVI
1080/60i	1 920×1 080i	33.8	60.0	74.3	A	YPbPr/RGB/DVI
1080/50i	1 920×1 080i	28.1	50.0	74.3	A	YPbPr/RGB/DVI
720/60p	1 280×720	45.0	60.0	74.3	A	YPbPr/RGB/DVI
VGA400	640×400	31.5	70.1	25.2	A	RGB
	640×400	37.9	85.1	31.5	A	RGB
VGA480	640×480	31.5	59.9	25.2	A	RGB/DVI
	640×480	35.0	66.7	30.2	A	RGB
	640×480	37.9	72.8	31.5	A	RGB
	640×480	37.5	75.0	31.5	A	RGB
	640×480	43.3	85.0	36.0	A	RGB
SVGA	800×600	35.2	56.3	36.0	A	RGB
	800×600	37.9	60.3	40.0	A	RGB/DVI
	800×600	48.1	72.1	50.0	A	RGB
	800×600	46.9	75.0	49.5	A	RGB
	800×600	53.7	85.1	56.3	A	RGB
MAC16	832×624	49.7	74.6	57.3	A	RGB
XGA	1 024×768	48.4	60.0	65.0	AA	RGB/DVI
	1 024×768	56.5	70.1	75.0	AA	RGB/DVI
	1 024×768	60.0	75.0	78.8	AA	RGB/DVI
	1 024×768	68.7	85.0	94.5	AA	RGB/DVI
	1 024×768i	35.5	87.0	44.9	AA	RGB
MXGA	1 152×864	64.0	71.2	94.2	A	RGB
	1 152×864	67.5	74.9	108.0	A	RGB
	1 152×864	76.7	85.0	121.5	B	RGB
MAC21	1 152×870	68.7	75.1	100.0	A	RGB
MSXGA	1 280×960	60.0	60.0	108.0	A	RGB
SXGA	1 280×1 024	64.0	60.0	108.0	A	RGB/DVI
	1 280×1 024	80.0	75.0	135.0	B	RGB
	1 280×1 024	91.1	85.0	157.5	B	RGB
	1 400×1 050	64.0	60.0	108.0	A	RGB/DVI
UXGA	1 600×1 280	75.0	60.0	162.0	B	RGB

※1 解像度の後ろの“i”は、インターレース信号を意味します。

※2 画質を表す記号は下記の通りです。

AA 最高の画質で投写します。A 画像処理回路で変換し投写します。B データを間引いて簡易投写します。

※3 フレームロック機能に対応している信号です。

お知らせ • 表示ドット数は1 024×768です。上記データで表示ドット数が異なる信号は1 024×768ドットに変換されて表示します。

投写レンズごとの投写距離

別売の投写レンズの投写距離は以下の通りです。

TH-D3500に付属している標準レンズの投写距離については、17ページをご覧ください。

取り付けかたについては、21ページをご覧ください。

(SH, SW, L, LW, LT, H : メートル、SD : インチ)

投写画面サイズ (アスペクト4:3)			広角固定 焦点レンズ	広角 ズームレンズ		中焦点 ズームレンズ		長焦点 ズームレンズ		超長焦点 ズームレンズ	
対角 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	品番 : ET- DLE050	品番 : ET-DLE100		品番 : ET-DLE200		品番 : ET-DLE300		品番 : ET-DLE400	
			(0.8) (L)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)	最短 (LW)	最長 (LT)
50	0.76	1.02	0.79	1.34	1.81	2.46	4.05	3.84	6.03	5.94	8.31
60	0.91	1.22	0.96	1.61	2.19	2.96	4.87	4.63	7.26	7.11	9.95
70	1.07	1.42	1.12	1.89	2.56	3.46	5.69	5.43	8.49	8.28	11.60
80	1.22	1.63	1.29	2.17	2.93	3.97	6.52	6.22	9.72	9.45	13.24
90	1.37	1.83	1.45	2.44	3.30	4.47	7.34	7.02	10.96	10.62	14.89
100	1.52	2.03	1.62	2.72	3.68	4.98	8.17	7.81	12.19	11.79	16.53
120	1.83	2.44	1.95	3.27	4.42	5.99	9.82	9.40	14.65	14.14	19.82
150	2.29	3.05	2.45	4.10	5.54	7.50	12.29	11.79	18.35	17.65	24.75
200	3.05	4.06	3.28	5.48	7.40	10.02	16.41	15.76	24.51	23.52	32.98
250	3.81	5.08	—	6.87	9.26	12.54	20.53	19.74	30.67	29.39	41.20
300	4.57	6.10	—	8.25	11.12	15.06	24.65	23.71	36.83	35.27	49.43
350	5.33	7.11	—	9.63	12.98	17.58	28.77	27.69	42.99	41.15	57.66
400	6.10	8.13	—	11.02	14.84	20.11	32.90	31.66	49.15	47.04	65.90
500	7.62	10.16	—	13.78	18.56	25.15	41.14	39.61	61.47	58.85	82.38
600	9.14	12.19	—	16.55	22.28	30.19	49.38	47.56	73.80	70.67	98.87

投写レンズ別投写距離計算式

(L, LW, LT : メートル、SD : インチ)

広角固定焦点	品番 : ET-DLE050		$L=0.0166 \times SD - 0.0361$
広角ズーム	品番 : ET-DLE100	最短 (LW)	$LW=0.0276 \times SD - 0.0452$
		最長 (LT)	$LT=0.0372 \times SD - 0.0478$
中焦点ズーム	品番 : ET-DLE200	最短 (LW)	$LW=0.0504 \times SD - 0.0657$
		最長 (LT)	$LT=0.0824 \times SD - 0.0758$
長焦点ズーム	品番 : ET-DLE300	最短 (LW)	$LW=0.0795 \times SD - 0.1380$
		最長 (LT)	$LT=0.1232 \times SD - 0.1310$
超長焦点ズーム	品番 : ET-DLE400	最短 (LW)	$LW=0.1176 \times SD + 0.0244$
		最長 (LT)	$LT=0.1646 \times SD + 0.0651$

お知らせ • 上記の表の寸法や計算式で求められる値は若干の誤差があります。

その他

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1.保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

2.保証期間

お買い上げ日から本体1年間。ただし、光源ランプは6カ月または600時間の早い方。

3.修理を依頼される時

57ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。
ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

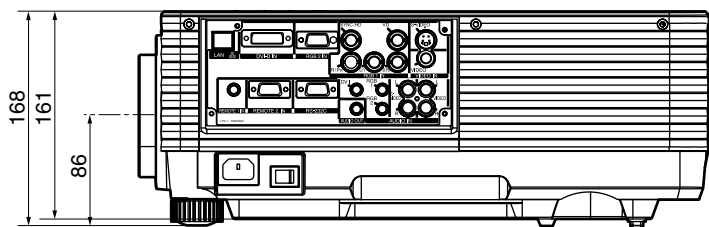
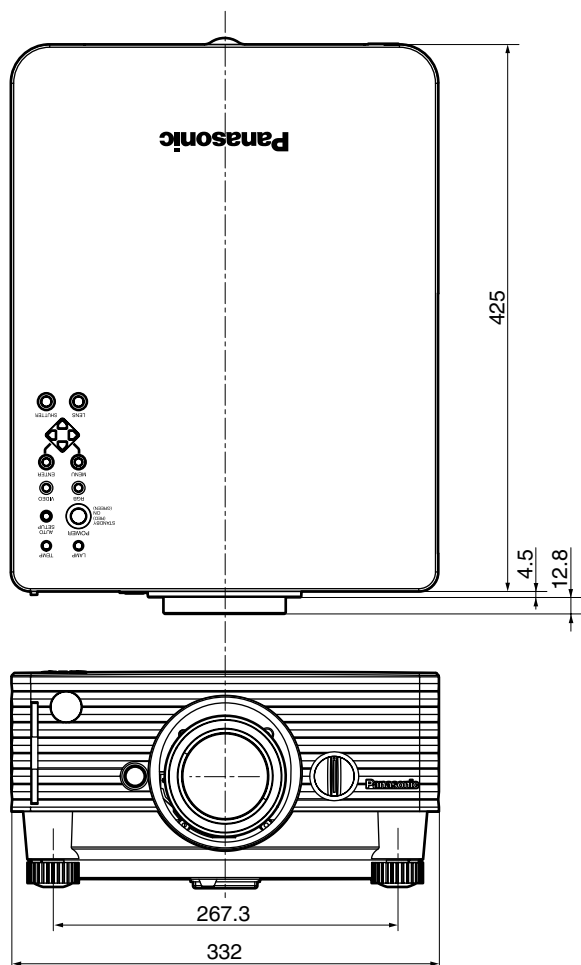
4.ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理を依頼される時にご連絡いただきたい内容	
ご 氏 名	
ご 住 所	付近の見取図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製 品 名 ・ 品 番 お 買 い 上 げ 日	お手もとの保証書をご覧ください。
故 障 ま た は 異 常 の 内 容	42ページのモニター部の内容も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪 問 ご 希 望 日	ご都合の悪い日もあわせて。

外形寸法図

〈単位：mm〉



その他



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

お客様は、本ソフトウェア（プロジェクターに内蔵されているマイコン、ROMなどに記録された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできませんが、著作権がお客様に移転するものではありません。

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証を致しません。

商標について

- VGA、XGAは米国International Business Machines Corporationの商標です。
- S-VGAはVideo Electronics Standards Associationの商標または登録商標です。
- Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Netscape及びNetscape CommunicatorはNetscape Communications Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Digital Light Processing, DLP、Digital Micromirror Device, DMDはTexas Instrumentsの商標です。
- PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における出願商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	TH-D3500
	販売店名	☎ () -		

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2005 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

M0605-1105